

平成 30 年度

『福祉に関わる団体支援者アンケート』

## 調査報告書

この調査は、第3次黒部市地域福祉活動計画策定に向けての基礎調査として福祉に関わる民生委員児童委員並びにボランティア登録団体への意識調査を行うものである。

- 1 「福祉に関わる民生委員児童委員アンケート」調査報告
- 2 「福祉に関わるボランティア登録団体アンケート」調査報告
- 3 資料：アンケートフォーマット

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

「福祉に関わる民生委員児童委員アンケート」  
調査報告書

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会



## 1 調査目的

黒部市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせるやさしいまちづくり」を目指し、黒部市の福祉環境の充実、向上に向けた「第3次地域福祉活動計画」を策定するため、各年代層やさまざまな立場の方々の意見・提案をいただいているが、本調査については黒部市内の民生委員児童委員を対象に、地域生活や地域との関わり、福祉の充実などに対する意見を調査し、将来の地域づくりの参考とすることを目的としている。

## 2 調査対象

黒部市民生委員児童委員 113名

## 3 調査期間

平成30年7月5日～平成30年8月6日

## 4 アンケート調査方法

民児協理事協議会(7月5日)開催時に、各地区会長に依頼し、全民生委員児童委員に配布し、回答してもらう。

## 5 回収結果

今回のアンケート調査では、民生委員児童委員全113名中108名より回答を得ることができた。

対象者数	回答者数	有効回答率
113名	108名	95.6%

対象者数と回答者数にやや差異はあるが、回答率は95.6%と高く、今回の調査結果に対し、大きな影響をもたらすことはないと考える。

## 6 調査結果まとめ

<属性>

### 1. 性別

委員構成比は、男性35.2%、女性64.8%であった。

### 2. 年代

60代が59.3%と全体の6割を占め、次いで70代が23.1%、50代が11.1%、40代が6.5%であった。20代、30代の若い世代、80歳以上の高齢世代の委員はいなかった。

### 3. 住んでいる地区

委員は地区毎に規定数が決められているため、地区で区分した場合、回答比に当然ばらつきはあるが、どの地区からも9～10割の回答が得られ、各地区の現状について満遍なく回答が得られていると考える。

### 4. 職業

無職が30.6%と全体の3割を占め、元職は会社員と公務員が多かった。その他、主婦が25.0%、パート・アルバイトが19.4%、会社員が10.2%、自営業が7.4%、農業が6.5%であった。問2の年代比からみても、定年後の方が多いことがうかがえる。

<民生委員・児童委員活動について>

### 5. 現在の任期

「1期目」が59.3%と全体の6割を占め、「2期目」が20.4%、「3期目」が9.3%、「4期目以上」が11.1%であった。継続者が少なく、1期で交替している地区が多いことがうかがえる。

### 6. 民生児童委員になられた経緯

「知り合いから勧められた」が45.4%と全体の5割を占め、「その他」と回答している31.5%の方も、町内会(長)や自治振興会(長)から頼まれたという回答が多かった。その他、「順番だった」が7.4%、「知らないうちに任命された」が11.1%で、「自らやってみようと思った」は1.9%(108名中2名)であった。

### 7. 活動に対する満足度

「ふつう」が50.0%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が21.3%、「ほぼ満足している」が14.8%、「やや不満である」が13.0%、「かなり不満である」が0.9%、「大変満足している」は回答者ゼロであった。

### 8. 相談を受けたことのある内容

「見守り」、「独居」、「介護」、「認知症」と高齢者に関する相談が上位を占めていた。その他、「住民との摩擦に関する相談」、高齢者問題よりは少ないが、「育児・子育て」、「ひとり親」、「生活保護」等の相談に関しても全体の2割近くの方が相談を受けたことがあると答えていた。

### 9. 近年、相談件数が増えたもの、増えてきたと感じる課題

件数に若干違いはあるものの、その内容については、これまでに相談を受けたことのある高齢者問題が多く、「介護」、「認知症」、「見守り」、「独居」に関する相談が増えてきたと感じている方が全体の4割いることがわかった。

## 10. 活動について、個人的に感じること

【会合・会議への参加】は、「かなり大変」が 5.6%、「やや大変」が 43.5%、「ふつう」が 38.0%、「あまり大変ではない」が 5.6%、「大変と思ったことはない」が 6.5%であった。

【訪問・相談】については、「かなり大変」が 8.3%、「やや大変」が 33.3%、「ふつう」が 43.5%、「あまり大変ではない」が 11.1%、「大変と思ったことはない」が 2.8%であった。

【研修・勉強会への参加】は、「かなり大変」が 5.6%、「やや大変」が 38.0%、「ふつう」が 46.3%、「あまり大変ではない」が 6.5%、「大変と思ったことはない」が 3.7%であった。

【事務作業・提出物】については、「かなり大変」が 6.5%、「やや大変」が 25.0%、「ふつう」が 54.6%、「あまり大変ではない」が 9.3%、「大変と思ったことはない」が 2.8%であった。

【地区行事等への参加】は、「かなり大変」が 9.3%、「やや大変」が 31.5%、「ふつう」が 43.5%、「あまり大変ではない」が 9.3%、「大変と思ったことはない」が 3.7%であった。

全体評価として、会合や会議、研修や勉強会への参加等、活動時間に縛りがあるものについては、約 4 割の方が「大変」と感じ、個人として活動できる訪問や相談、事務作業や提出物については、委員活動として「ふつう」と感じている人が多いことがわかった。

## 11. 自身の悩みや不安、課題について

悩みや不安、課題が「ある」が 55.6%、「ない」が 32.4%であった。

具体的な内容として多く上がったのは、活動の仕方、動き方が分からず活動に自信がもてない、具体的な活動事例を聞きたい、認知症との関わりや他人の家族との関わり方への不安、仕事との両立、後任がいない、外部との連携が取れていない、情報が入らないとの声が多く上がっていた。

## 12. ありたい形(理想)と想定(将来)でギャップを感じること

多く上がった意見として、若い世代に活躍してもらいたいが、仕事等の関係で時間的に難しい(断られる、増えない)であった。また、民生児童委員の認知度が低く理解を得られない、活動に対して無関心であるとの声も多かった。

<外部との関わりについて>

## 13. 行政・地区・専門機関・社協との関わりについて

回答数が多かったものとして、【行政との関わり】は、「ふつう」が 33.3%、「やや弱い」が 32.4%、【地区との関わり】は、「ふつう」が 40.7%、「強い」が 35.2%、【専門機関との関わり】は、「ふつう」が 45.4%、「やや弱い」が 30.6%、【社協との関わり】は、「ふつ

う」が 50.0%、「強い」が 23.1%であった。

全体評価として、地区との関わりを強く感じ、行政、専門機関との関わりは、弱く感じていた。ただ、どの項目も「強い」、「弱い」とは言い切れず、「ふつう」と感じている人が全体の 3 割～5 割と最も多かった。

#### 14. 『福祉』という言葉のイメージ

福祉という言葉のイメージは、一人ひとり様々であったが、いくつかの共通項目があり、その用語をキーワードとし、集約した。

キーワードとして、「幸せ」、「支える・助ける」、「安心・安全」、「やさしい・思いやり」というイメージを意味する内容が多くあった。

<福祉の複合施設について>

#### 15. 福祉の複合施設の利用について

利用したいかの問いに対して、「はい」が 49.1%、「いいえ」が 3.7%、「わからない」が 43.5%であった。

#### 16. 複合施設の利用環境について

利用環境として最も多く求められたものは、「②バスの送迎（59件）」で全体の 5 割、次いで、「相談」、「子育て広場」、「趣味の場」、「カフェ」といった気軽にいける施設環境が求められていることがわかった。

その他の意見として、施設自体必要ない、これ以上箱物を増やす必要はないという意見も少数ではあるが上がっていた。

#### 17. 黒部市社協に対する意見

行政との連携強化、広報誌に対する評価、くろベネットに対する意見等があった。

# アンケート結果報告書



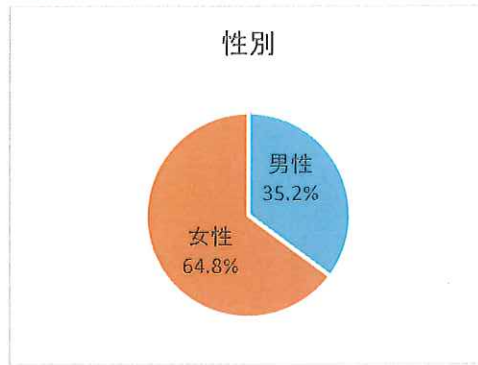
黒部市社会福祉協議会『福祉に関わる団体支援者アンケート』調査結果(民生児童委員用)

調査依頼者総数…113名 回収枚数…108枚 回収率…95.6%

◎ 属性

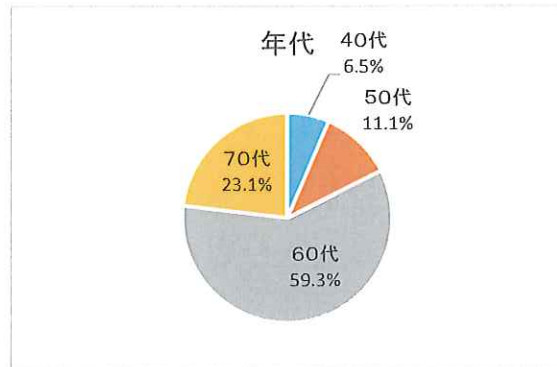
1. 性別

	回答(人)	%
男性	38	35.2
女性	70	64.8
全体	108	100.0



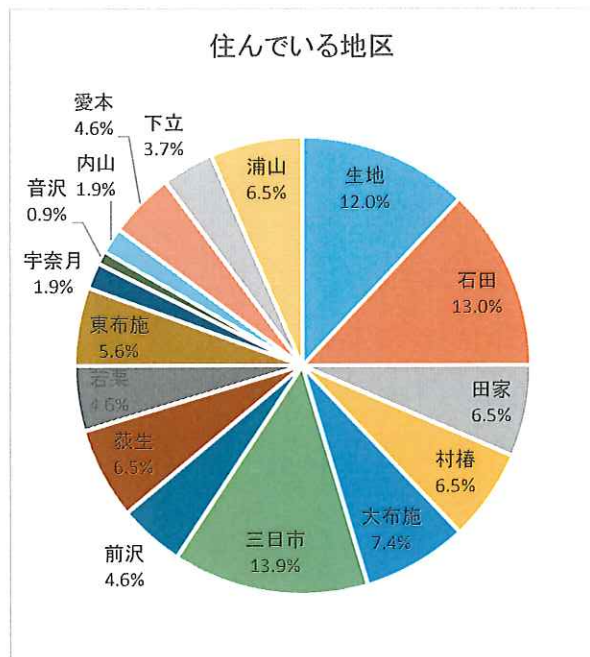
2. 年代

	回答(人)	%
20代	0	0.0
30代	0	0.0
40代	7	6.5
50代	12	11.1
60代	64	59.3
70代	25	23.1
80歳以上	0	0.0
全体	108	100.0



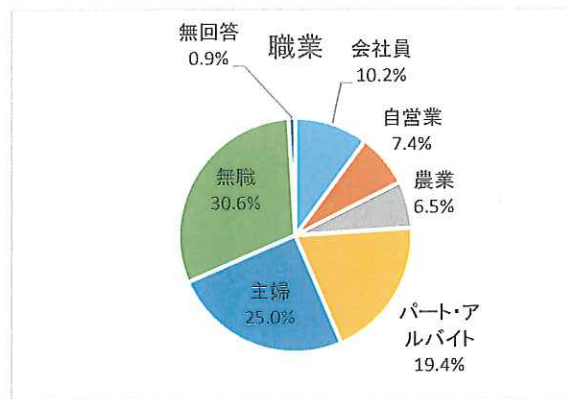
3. 住んでいる地区

	回答(人)	%
生地	13	12.0
石田	14	13.0
田家	7	6.5
村椿	7	6.5
大布施	8	7.4
三日市	15	13.9
前沢	5	4.6
荻生	7	6.5
若栗	5	4.6
東布施	6	5.6
宇奈月	2	1.9
音沢	1	0.9
内山	2	1.9
愛本	5	4.6
下立	4	3.7
浦山	7	6.5
全体	108	100.0



#### 4. 職業

	回答(人)	%
会社員	11	10.2
自営業	8	7.4
農業	7	6.5
パート・アルバイト	21	19.4
主婦	27	25.0
無職	33	30.6
無回答	1	0.9
全体	108	100.0

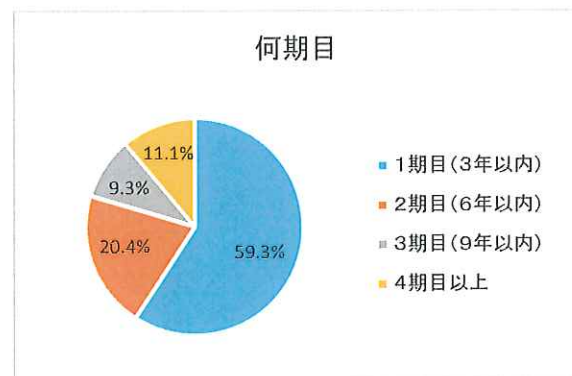


無職（元職）…会社員11、公務員4、団体職員1、介護員1、栄養士1  
 教員1、銀行員1、富山県職1、保育士2、製造業1

#### ◎ 民生委員・児童委員活動について

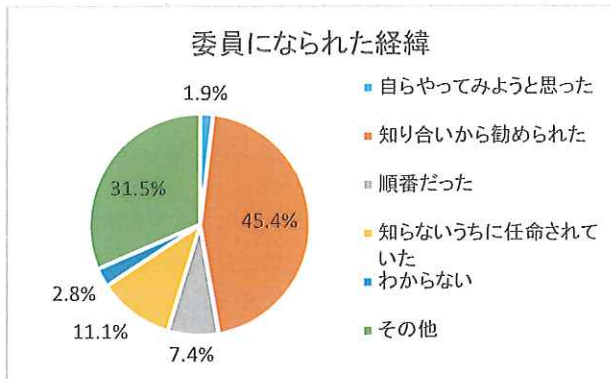
#### 5. 現在の任期

	回答(人)	%
1期目（3年以内）	64	59.3
2期目（6年以内）	22	20.4
3期目（9年以内）	10	9.3
4期目以上	12	11.1
全体	108	100.0



## 6. 民生委員児童委員になられた経緯

	回答(人)	%
自らやってみようと思った	2	1.9
知り合いから勧められた	49	45.4
順番だった	8	7.4
知らないうちに任命されていた	12	11.1
わからない	3	2.8
その他	34	31.5
全体	108	100.0

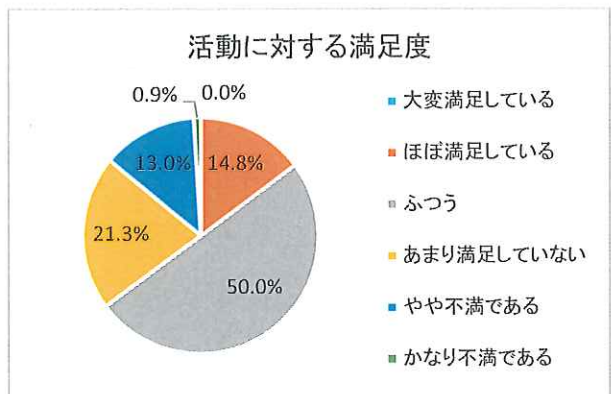


### 【その他】

- ・町内会（町内会長、副会長、前任者）から頼まれた。
- ・振興会（振興会長）から頼まれた。
- ・町内会長から何度もお願いされ断れなかった。
- ・町内から数名で頼みに来られた。
- ・地区の総代さんをお願いされた。
- ・前任者の方が病気になられ、町内会長さんに勧められ承諾せざるを得なくなった。
- ・前任者が急に亡くなられたため
- ・在任中に退任され、突然に依頼された。
- ・選考委員であったがため、先行者がいなくなったので責任をとった結果です。
- ・半強要、強引に頼まれた。
- ・高齢（75才）の為、無理と言ったが、他の方は全員仕事をしているから、名前だけあげさせてと区長さんに言われて、仕方なく。
- ・仕事で地元の方にお世話になったため、少しでも力になれることがあれば、協力したいと思った。

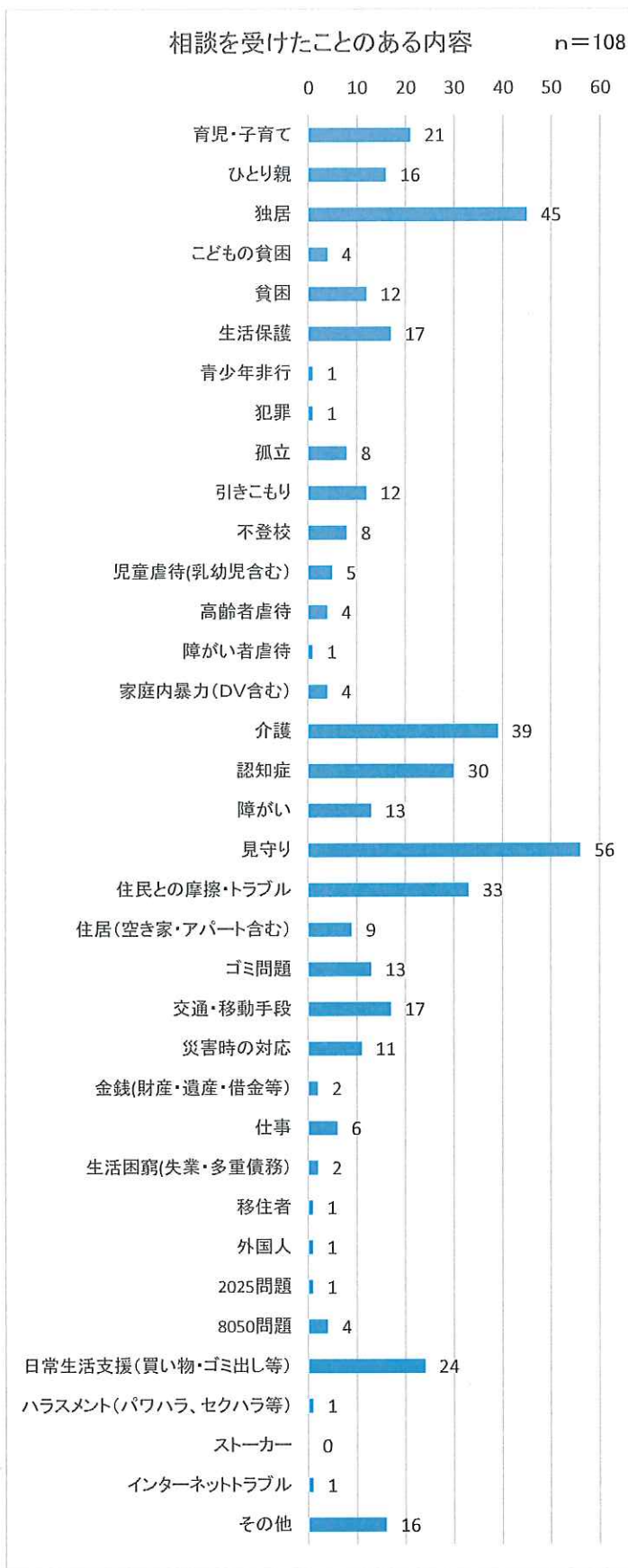
## 7. 民生委員児童委員活動に対する満足度

	回答(人)	%
大変満足している	0	0.0
ほぼ満足している	16	14.8
ふつう	54	50.0
あまり満足していない	23	21.3
やや不満である	14	13.0
かなり不満である	1	0.9
全体	108	100.0



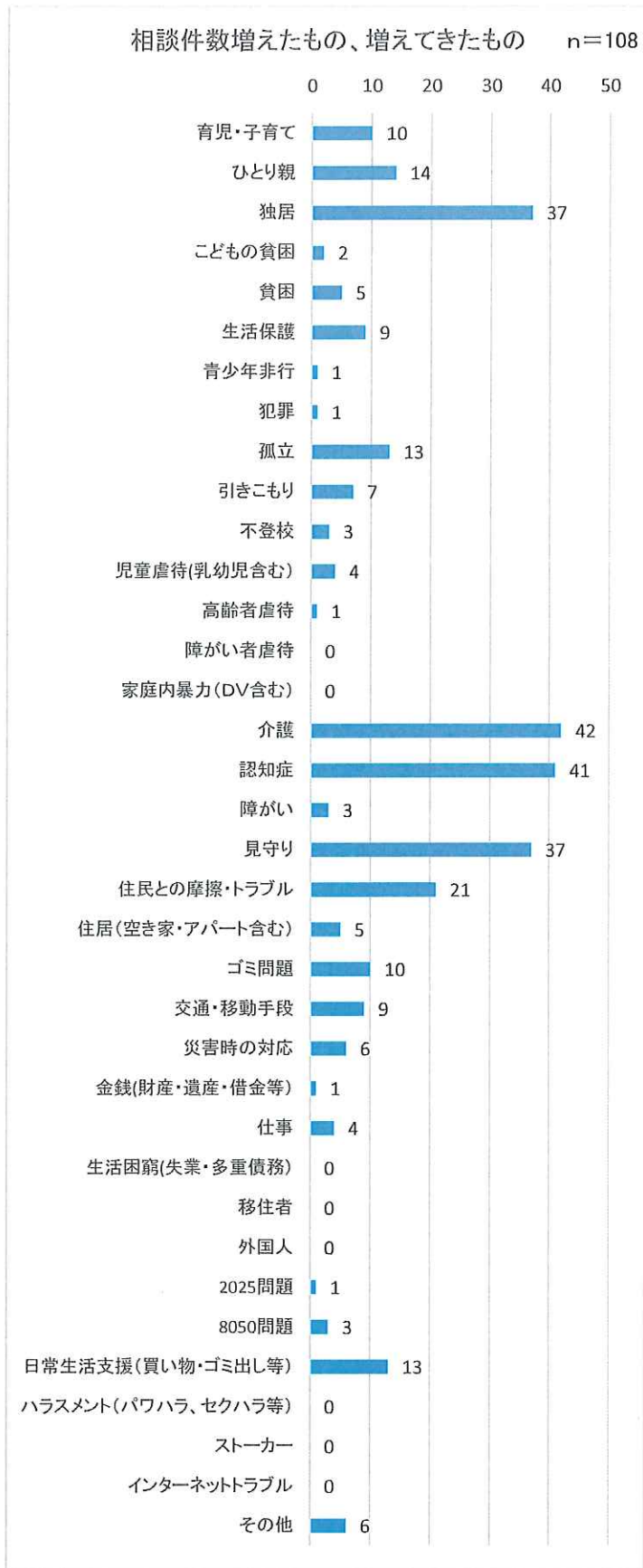
8. 相談を受けたことのある内容（複数回答可）

No.	相談内容	件数
1.	育児・子育て	21
2.	ひとり親	16
3.	独居	45
4.	こどもの貧困	4
5.	貧困	12
6.	生活保護	17
7.	青少年非行	1
8.	犯罪	1
9.	孤立	8
10.	引きこもり	12
11.	不登校	8
12.	児童虐待(乳幼児含む)	5
13.	高齢者虐待	4
14.	障がい者虐待	1
15.	家庭内暴力(DV含む)	4
16.	介護	39
17.	認知症	30
18.	障がい	13
19.	見守り	56
20.	住民との摩擦・トラブル	33
21.	住居(空き家・アパート含む)	9
22.	ゴミ問題	13
23.	交通・移動手段	17
24.	災害時の対応	11
25.	金銭(財産・遺産・借金等)	2
26.	仕事	6
27.	生活困窮(失業・多重債務)	2
28.	移住者	1
29.	外国人	1
30.	2025問題	1
31.	8050問題	4
32.	日常生活支援(買い物・ゴミ出し等)	24
33.	ハラスメント(パワハラ、セクハラ等)	1
34.	ストーカー	0
35.	インターネットトラブル	1
36.	その他	16
全体		439



9. 近年、相談件数が増えたもの、増えてきたと感じる課題（複数回答可）

No.	相談内容	件数
1.	育児・子育て	10
2.	ひとり親	14
3.	独居	37
4.	こどもの貧困	2
5.	貧困	5
6.	生活保護	9
7.	青少年非行	1
8.	犯罪	1
9.	孤立	13
10.	引きこもり	7
11.	不登校	3
12.	児童虐待(乳幼児含む)	4
13.	高齢者虐待	1
14.	障がい者虐待	0
15.	家庭内暴力(DV含む)	0
16.	介護	42
17.	認知症	41
18.	障がい	3
19.	見守り	37
20.	住民との摩擦・トラブル	21
21.	住居(空き家・アパート含む)	5
22.	ゴミ問題	10
23.	交通・移動手段	9
24.	災害時の対応	6
25.	金銭(財産・遺産・借金等)	1
26.	仕事	4
27.	生活困窮(失業・多重債務)	0
28.	移住者	0
29.	外国人	0
30.	2025問題	1
31.	8050問題	3
32.	日常生活支援(買い物・ゴミ出し等)	13
33.	ハラスメント(パワハラ、セクハラ等)	0
34.	ストーカー	0
35.	インターネットトラブル	0
36.	その他	6
全体		309



## 8-1 相談を受けたことのある内容

### 【具体的な内容】

- 12. 児童虐待…ネグレスト
- 20. 住民との摩擦・トラブル…近所の方から罵声を浴びストレスを感じる。
- 22. ゴミを出しに行けない
- 25. サラ金問題

### 【その他の相談内容】

- ・ 除雪、屋根雪おろし
- ・ 移動時の交通費
- ・ 救急外来についてきてほしい。
- ・ 独居老人が骨折、入院を拒み、湿布の交換に通った。
- ・ 救急車で搬送する事態に2回立ち会う。息子がいるが病院の入退院、施設の入退所に必ず関わらねばならない。
- ・ 家庭内トラブル
- ・ 家庭内にて嫁婿との折角が悪く娘さんの両親がアパートに住みたいとの相談を受けた。  
(保証人等の件で)
- ・ 黒部川河川敷でケガして倒れていた女性が救急から警察に保護され、住居（アパート）までパトカーで護送され、立ち合いになった。
- ・ 一人暮らしで近くに息子さん2人がいます。その一人暮らしの親に食事の補助はありませんか。
- ・ 「心の病の友人からの電話の回数や同じ事を延々と話す先の見えない話にどの様に対応すべきか？」との相談
- ・ 特に相談を受けたことがない。

## 9-1 相談件数が増えたもの、増えてきたと感じる課題

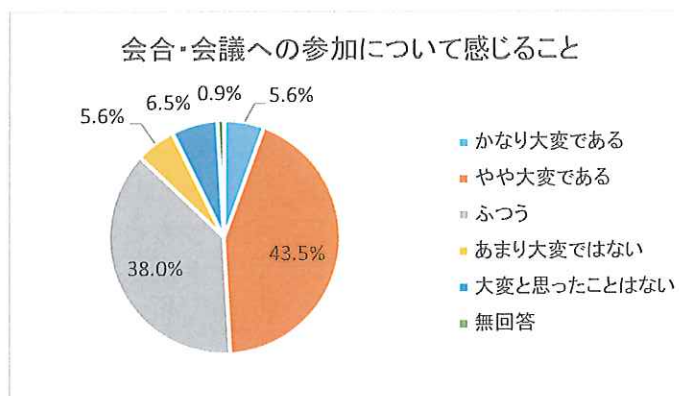
### 【その他】

- ・ 除雪
- ・ 高齢者の体調、病気など
- ・ 高齢者世代の問題
- ・ 家庭内トラブル
- ・ 1期目でありまだわからない
- ・ 特にない

## 10. 活動について、個人的に感じること

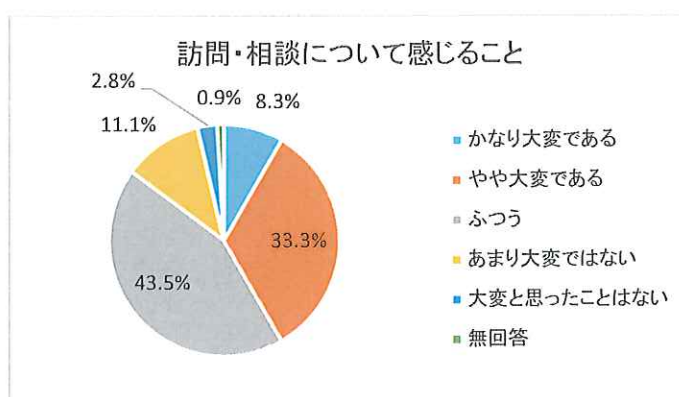
### 【会合・会議への参加】

	回答(人)	%
かなり大変である	6	5.6
やや大変である	47	43.5
ふつう	41	38.0
あまり大変ではない	6	5.6
大変と思ったことはない	7	6.5
無回答	1	0.9
全体	108	100.0



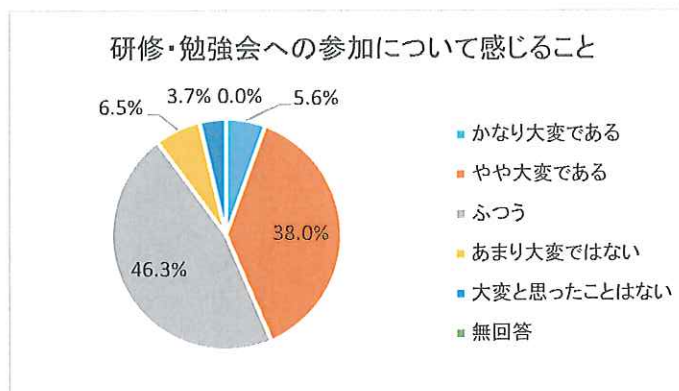
### 【訪問・相談】

	回答(人)	%
かなり大変である	9	8.3
やや大変である	36	33.3
ふつう	47	43.5
あまり大変ではない	12	11.1
大変と思ったことはない	3	2.8
無回答	1	0.9
全体	108	100.0



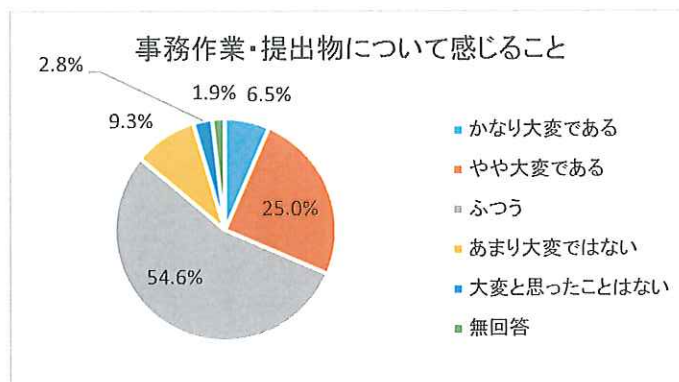
### 【研修・勉強会】

	回答(人)	%
かなり大変である	6	5.6
やや大変である	41	38.0
ふつう	50	46.3
あまり大変ではない	7	6.5
大変と思ったことはない	4	3.7
無回答	0	0.0
全体	108	100.0



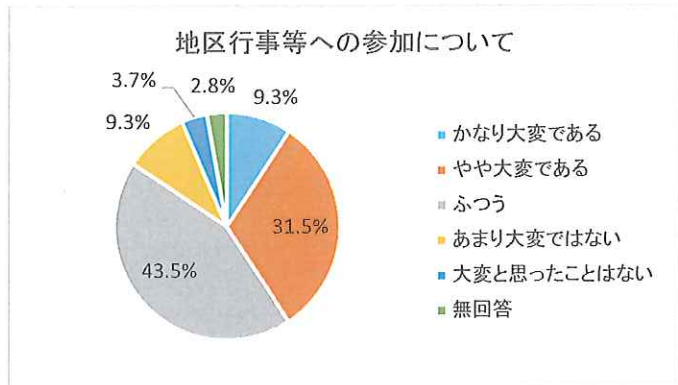
### 【事務作業・提出物】

	回答(人)	%
かなり大変である	7	6.5
やや大変である	27	25.0
ふつう	59	54.6
あまり大変ではない	10	9.3
大変と思ったことはない	3	2.8
無回答	2	1.9
全体	108	100.0



【地区行事等への参加】

	回答(人)	%
かなり大変である	10	9.3
やや大変である	34	31.5
ふつう	47	43.5
あまり大変ではない	10	9.3
大変と思ったことはない	4	3.7
無回答	3	2.8
全体	108	100.0



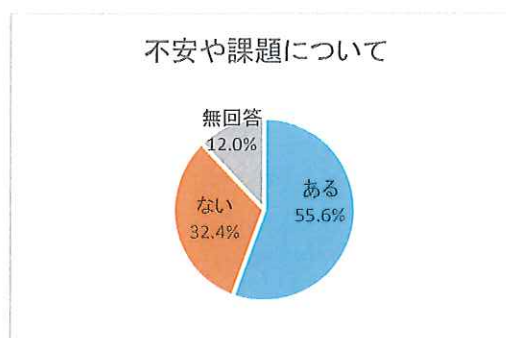
【その他自由記述】

- ・ 委員になったばかりで活動に関してこれから色々感じると思います。
- ・ 色々な活動があるが、自分としてできる範囲でやるしかない。それ以上は無理である。
- ・ 夫の理解があり仕事もしていないので時間のやりくりは自分のこころ次第です。
- ・ 新任委員には最初に導入教育が必至です。富山市等での会議は負担です。
- ・ 相談されることが少ない。挨拶程度。定例会で依頼されたことをする。時々ひとり高齢者世帯を訪問する程度
- ・ 法律の変更でいろいろと政令が多く変更される。



## 11. 自身の悩みや不安、課題について

	回答(人)	%
ある	60	55.6
ない	35	32.4
無回答	13	12.0
全体	108	100.0



### 【不安・課題】

- ・育児子育ての方で応援したいがきっかけがない。
- ・今は与えられたことだけをこなしている現状なので、この先どのような活動をしたらよいか分からない。
- ・いろんな方がいる中で対応が難しい時がある。
- ・活動内容が良く自分自身理解できていなくて、どう動いていいのかわからず不安である。
- ・活動内容の希薄さに焦りを感じ、もっとやるべきことがあるのではないかと自責の念に駆られている。
- ・くろベネット活動は市全体とすれば同じ方向性に統一されよいことだと思いますが、社協の人の各地区の統一がはっきりしていないように思う。スタートが同じならどの地区も同じことでスタートしたい。(不満になりますが)
- ・現在、パートの仕事をしているので、研修、行事のたびに休まなければならない。
- ・現在4期目での活動をしていますが、もっと若い世代の人に次期委員になっていただきたい気持ちがあります。私でいいのだろうかと自問自答しています。
- ・後任がない
- ・高齢者、子供を守るという気迫を振興会、町内会、学校、PTAが連携を密にして民生児童委員とともに守る行動を強化する体制が必要と感じます。
- ・高齢者が増え(高齢者一人暮らしも)病気で通院がほとんどで(これから不安である)日々気にかかっている。
- ・今後民生委員を継続していくのか、常に心の中で葛藤している。
- ・仕事があると日中(特に平日)の相談事への対応がほとんどできない。
- ・仕事との兼ね合いで活動に参加しにくい面もあるので、心苦しいと感じる面があります。
- ・仕事をしながらの民生委員活動をしていると、必ず相談者の方から「お仕事お忙しいのすみません」と言われます。相談者からいつでも相談しやすい立場ではないのではないかと思います。いつも申し訳なく感じています。
- ・主任児童委員や児童委員の担当する活動がはっきりしていないと感じる。十分な活動でないことが心苦しい。
- ・相談を受ける立場から逆の相談する立場に突然なるのではという心配がある。
- ・大病持ち(心臓病)の為、身体に不安を感じています。
- ・地域での話に町内会長自治会が私の仕事ではない「忙しい」と言う。
- ・地域に困っている人がどこにいるのかわからない。情報が入らない。
- ・力不足で中々地域の中に根をおろせない。
- ・地区住民へのPR不足なのか、何か事が起こると、それは民生委員の仕事だ!!とか民生委員は何しとる!!の批判が出る。そうすると委員の活動に自信が持てなくなる。

・町内で困っている方の把握、町内役員との情報共有、引きこもり（中年）へのアプローチができない。災害時、自分がまず何をするのか、他の民生委員が具体的にどんな活動をしているのか、相談があるのか事例を聞きたい。

・町内に認知症の方が増え、かかえきれません。

・勤めながらのことなので仕事に支障がないようにと思うと、研修などそんなに参加できない。

・なかなか担当地区全体のことを把握できない。他人の家庭内のことまで聞くのは苦手。情報収集もあまりできない。

・年配者の訪問については留守も多く何回も足を運ぶこと、活動時間が十分とはいえない。自分では、満足できる活動とは言えない。心苦しい思いがあります。

・ひきこもりの過程にどのように声かけすればよいか

・一人暮らしの方々を訪問し、お話近況を伺っていますが、これで良いのかな？と時々思います。近況を伺いながら私に出来ること、もっとしてあげられることは何でしょうか？

・放課後児童クラブへの関わりが非常に大きく占めていることに対して、普通に8時間労働している私にとってはかなり負担である。

・本当に役に立っているのか不安である。一人暮らし高齢者とのかかわり方、どこまで踏み込めばいいのか疑問である。

・民生委員として他人の家庭との関わり方が難しいと思う。

・民生委員に求められるものが個人に依って違っているので、個別対応の難しさを常々感じている。

・住居の境界線についての相談は、昔からの経過など、分からなく困った。

・若い世代に活躍してもらいたいが、会合への参加、事務作業等が多く、仕事との両立は大変だと思われる。

・分からないことがあるが、社協、市役所に伝え連携して市民のニーズに応えていきたい。

・知識のない点は社協や包括支援センターに聞いている。

・顔を知らないので訪問しても相手にしてもらえない時がある。

## 12. ありたい形(理想)と想定(将来)でギャップを感じること

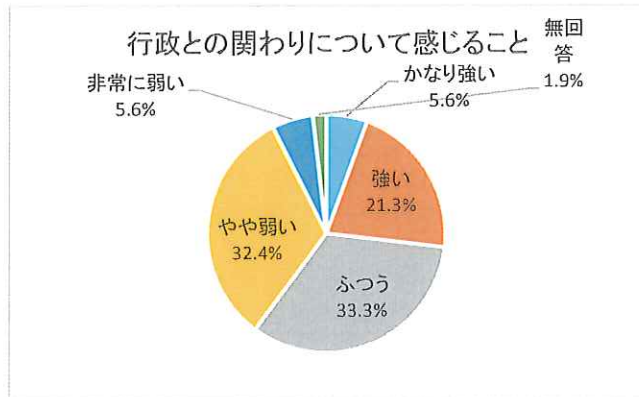
- ・あまりにもやるが多いため、今後、民生委員活動に参加される方はいかなものでしょうか。
- ・活動の内容が曖昧で何をしたらいいかわからない。活動の具体例を教えてください。
- ・活動への理解を深めたいが、認知度が低くなかなか理解を得られない。
- ・具体的な日常活動が確立されていないので、行動計画がたてにくい。
- ・行政と地域と民生委員が三位一体となった活動をしたいが、まだまだ道のりは遠く、個人の力の限界を感じる。
- ・研修会等、平日で若い人が民生委員にはなりづらいと思います。活動記録の記入が面倒
- ・権利と義務、皆さん理解して欲しい。
- ・高齢になるにつれ活動が負担。若い世代に期待したい。
- ・個人情報保護ということで、細かい情報が共有できない、やりにくい。
- ・相談や要請がない時に何をすればよいのか迷う
- ・主任児童委員として、普段、活動のほとんどが放課後児童クラブに関してになっており、子供達の家庭状況（母子家庭、ネグレスト等）調査や支援が漏れなく出来ていないのではと感じる時があります。
- ・情報入手などどこからしたらいいかわからないままで、役に立てることがあれば活動したいが、タイミングがわからない。認知度も低く、相談されるほど理解されていないと思う。
- ・大事な活動だが自分に余裕ゆとりがないと地域の中に積極的に入って活動することができない。
- ・新任の委員に2～3期と頑張ってもらいたいですが、地区によっては順番制があり1期で終わる人が多い。また、無理押しすると手不足になりかねない。
- ・地区で子供と高齢者とのふれあいを企画してみたいが子供が一人もいない（小学生3人のみ）
- ・地区の情報（特に子供達）が入手できない為、どのように活動して良いのかわからない。
- ・地区ごとの情報がなく、地区ごとの会合を実施して頂く。情報提供をお願いし、地区役員と委員が協力して活動を行う必要性を感じる。民生児童委員活動に無関心である。地区体制の充実をお願いします。
- ・一人暮らしだが、近所に息子や娘がいるので、どこまで関わってよいか難しい。
- ・不登校の子供と悩んでいる保護者がいても、専門職知識がなく力になりたいが対応ができない。
- ・役割を果たしたいが、実績がないので期待されない。
- ・若い委員（次回の新人）をお願いしようと思っても仕事をしているのでとってお断りされる。
- ・民生委員の年齢が高い。若い人が民生委員になっても仕事があると時間をとることができない。このジレンマ…本当は若い人に参加して欲しい。
- ・若い世代に活躍してもらいたいですが、人材不足で若い委員が増えない。（日中、働いている為、日中の行事に参加してもらえない）
- ・若い人たちに活動してもらいたいですが仕事や育児で時間的に難しいように思う。

◎ 外部との関わりについて

13. 行政・地区・専門機関・社協との関わりについて

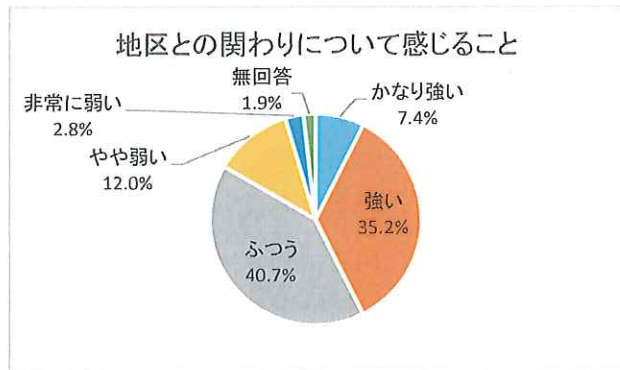
【行政との関わり】

	回答(人)	%
かなり強い	6	5.6
強い	23	21.3
ふつう	36	33.3
やや弱い	35	32.4
非常に弱い	6	5.6
無回答	2	1.9
全体	108	100.0



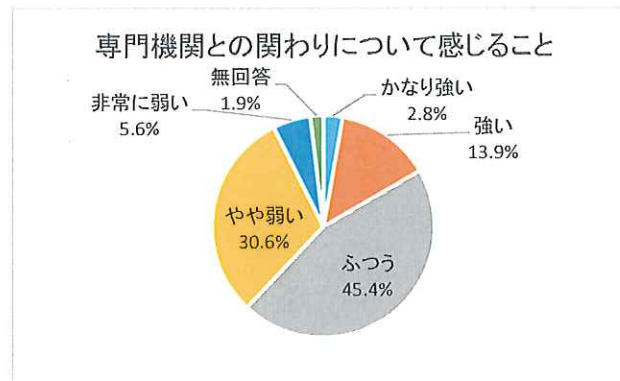
【地区との関わり】

	回答(人)	%
かなり強い	8	7.4
強い	38	35.2
ふつう	44	40.7
やや弱い	13	12.0
非常に弱い	3	2.8
無回答	2	1.9
全体	108	100.0



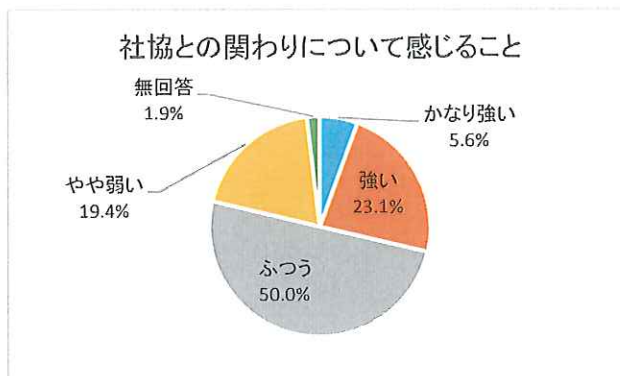
【専門機関との関わり】

	回答(人)	%
かなり強い	3	2.8
強い	15	13.9
ふつう	49	45.4
やや弱い	33	30.6
非常に弱い	6	5.6
無回答	2	1.9
全体	108	100.0



【社協との関わり】

	回答(人)	%
かなり強い	6	5.6
強い	25	23.1
ふつう	54	50.0
やや弱い	21	19.4
非常に弱い	0	0.0
無回答	2	1.9
全体	108	100.0



◎ 福祉について（個人としてお答えください）

14. 『福祉』という言葉のイメージ

幸せ

幸せ（2名）

幸せな暮らし（2名）

幸せに暮らすとか困った人々に手を差しのべる

個々の人が幸せと感じる暮らしができる

市民が幸せな暮らしが出来る事

ふだんの暮らしをしあわせにすること

最低限の幸福と社会的援助

満ちた幸福感

住民誰もが幸せに暮らすこと

誰もが幸せな暮らしで近隣とのつながりを作ることで災害等にも力になること

支える・助ける

助け合い

助け合い、支え合う、豊かな暮らし

自助、共助、公助、孤立させない

困っている人に手を差しのべる

補助

弱者の方へのサポート

気軽に相談し合える、相談を聞いてあげられる

心の隙間に入っていける温かい心を伝える

その人らしく穏やかにその地区で暮らしていけること（平穏無事に生活できること）

地域でお互いに共に支え合い、地域は自分たちで守っていく、一人一人が関心を持ってもらいたい。

日頃から声をかけたりなど関わりを結び気にかけて合う。災害時に協力し合える関係

1人1人が単独で行う事ではなく、地域全体で共同して行う事である

安心・安全

100%満足できなくても心安らかに生活できる毎日

安心、安全な暮らし

安心して暮らしていける社会のしくみ

安心できる生活

安心と安全

誰もが住み慣れた地域で安心安全に暮らしていくこと

誰もが平等に安心して暮らせる生活

## やさしい・思いやり

### 思いやり

人と楽しく思いやりをもって地域で生きる  
人と人をつなぐ信頼とおもいやり  
身近にいる人への手助け、思いやり  
できる人ができない人を思いやる心  
弱者にやさしい、生活しやすい環境作り  
寄り添う心

## 社会

### 孤立のない生活

社会奉仕に尽きます

人として最低限の生活ができる事（してあげる事）

## その他

「福祉」事業が「いま一」

活動範囲が広く、一言で言い表せないように思う

範囲が広く、高齢者の立場では心豊かな暮らし

一言では言えない

満足感の充実

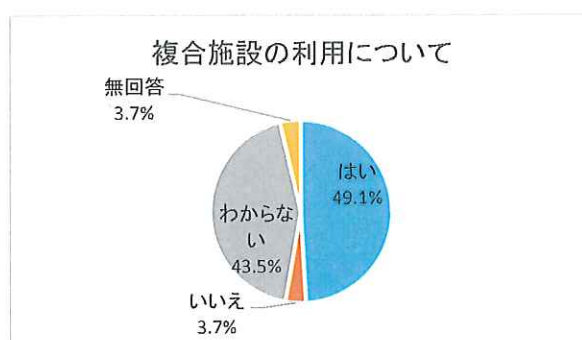
身近なものではないと思う

大きすぎてとらえどころがないようにも感ずる

## ◎ 福祉の複合施設について（個人としてお答えください）

### 15. 複合施設ができれば利用するか

	回答(人)	%
はい	53	49.1
いいえ	4	3.7
わからない	47	43.5
無回答	4	3.7
全体	108	100.0



### 【具体的な理由】

#### ①はいと答えた方

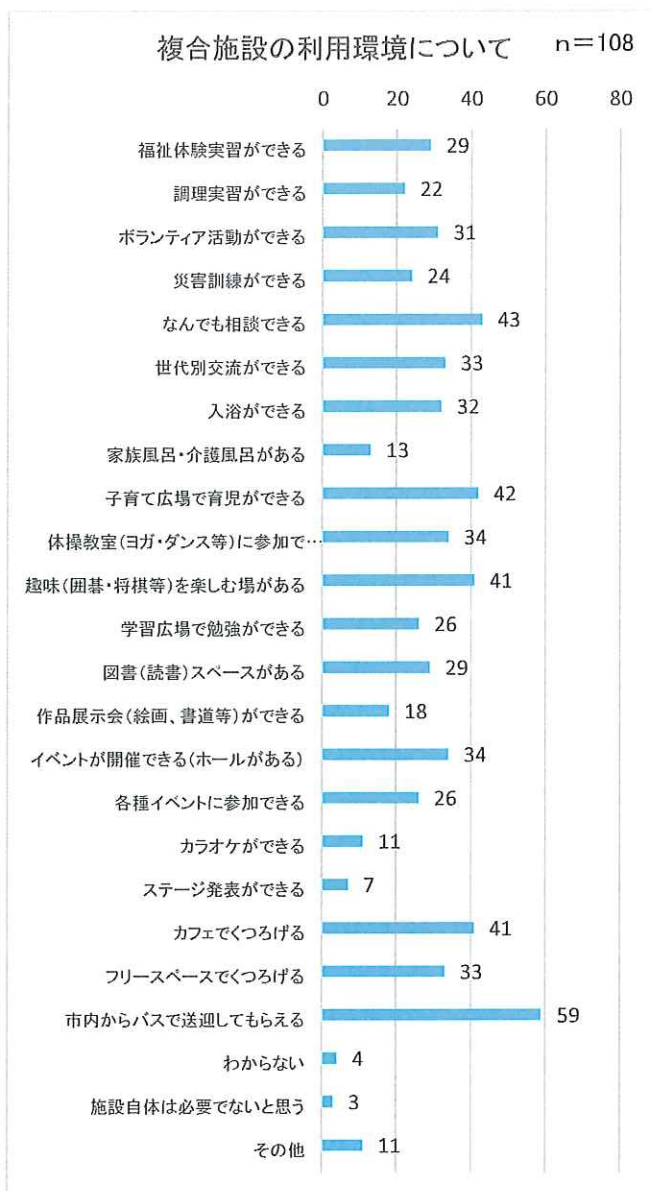
- ・高齢者が集まり楽しいひと時を過ごせる場所
- ・自分でできることを見つけたい
- ・体操などに参加してみたい
- ・もう少し年を重ねたら利用するかもしれない
- ・目的と内容が合えば

#### ③わからないと答えた方

- ・各地区にできれば利用するかも知れませんが黒部市としてとなるとそこまで行く交通手段等考えるし、近隣者がいないとなると学びに不安があります。

16. 複合施設の利用環境について（複数回答可）

No.		回答数
1.	福祉体験実習ができる	29
2.	調理実習ができる	22
3.	ボランティア活動ができる	31
4.	災害訓練ができる	24
5.	なんでも相談できる	43
6.	世代別交流ができる	33
7.	入浴ができる	32
8.	家族風呂・介護風呂がある	13
9.	子育て広場で育児ができる	42
10.	体操教室（ヨガ・ダンス等）に参加できる	34
11.	趣味（囲碁・将棋等）を楽しむ場がある	41
12.	学習広場で勉強ができる	26
13.	図書（読書）スペースがある	29
14.	作品展示会（絵画、書道等）ができる	18
15.	イベントが開催できる（ホールがある）	34
16.	各種イベントに参加できる	26
17.	カラオケができる	11
18.	ステージ発表ができる	7
19.	カフェでくつろげる	41
20.	フリースペースでくつろげる	33
21.	市内からバスで送迎してもらえる	59
22.	わからない	4
23.	施設自体は必要でないと思う	3
24.	その他	11



【その他】

- ・今ある施設を活用すればよいと思う
- ・映画が観れる
- ・買い物ができる
- ・情報根幹によって人間性を豊かにし、絆を深めることができればありがたい
- ・フリーマーケット（定期的）

## 17. 黒部市社会福祉協議会に対する意見及び質問（自由記述）

- ・各種団体の連携がスムーズになるようサポートをよろしくお願いします。
- ・具体的にはまだ不慣れのため分かりません
- ・くろベネットはスタートからつまづいている。もっと練りこんだうえでの運営方法を公表すべきであった。現場は困惑している。
- ・高齢化社会の現在、社協は人を増やし、住民の希望に少しでも答えられるよう頑張ってもらいたい。
- ・市との連携をしっかりとってほしい
- ・市ももっと仲良くなってほしい。（パイプの太さという意で）
- ・住みよく安心して生活できるまちづくりに尽力していただきたい。委員としても協力して築いていけたらと思う。
- ・複合施設があっても、そこに行ける人は問題ないと思います。家から出たがらない人、出れない人を何とかしなければと思います。
- ・毎月の福祉くろべがおもしろく、興味深いです。作成担当の方ありがとうございます。
- ・三日市でも買い物困難を感じている人は多いのでは？足が悪くタクシーを利用したり、高齢でも運転免許を返納してなかったり、気軽に利用できる交通ツールがあればいいと思う。
- ・民生委員からあげたことに社協は各地区にもっと足を運んで現状を把握してもらいたい。現状は社協より各地区に丸投げしているだけの様に思います。各資料も以前調査したものはそのまま残っていたり、どの資料が正しいのか分かりづらい。くろベネットに統一した意味がなくなっているように思います。将来は〇〇になってほしいではなく、スタート時点で各地区が同じレベルでスタートしてほしいです。
- ・リーダーシップを今以上に発揮してほしい。



「福祉に関わるボランティア登録団体アンケート」

## 調査報告書

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会



## 1 調査目的

黒部市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせるやさしいまちづくり」を目指し、黒部市の福祉環境の充実、向上に向けた「第3次地域福祉活動計画」を策定するため、各年代層やさまざまな立場の方々の意見・提案をいただいているが、本調査については黒部市内のボランティア登録団体を対象に、地域生活や地域との関わり、福祉の充実などに対する意見を調査し、将来の地域づくりの参考とすることを目的としている。

## 2 調査対象

黒部市内ボランティア登録団体 60 団体 ※別紙ボランティア団体一覧参照

## 3 調査期間

平成 30 年 7 月 20 日～平成 30 年 8 月 2 日

## 4 調査内容

アンケートの内容については、第 1 回ボランティア連絡会時に実施した「第 3 次黒部市地域福祉活動計画策定に向けてのワークショップ」の結果を基に作成

## 5 調査方法

第 1 回ボランティア連絡会(6 月 13 日)開催時に、参加団体代表者に依頼し、対象となるボランティア団体に送付し、回答してもらう。

## 6 回収結果

今回のアンケート調査では、ボランティア登録団体 60 団体中 38 団体より回答を得ることができた。

対象団体数	回答数	有効回答率
60 団体	38 団体	63.3%

## 7 調査結果まとめ

<団体活動について>

### 1. 活動エリア

市内全域で活動団体している団体が最も多く、その他、大布施地区、三日市地区で活動している団体が多かった。また、市内のみならず、県内外で活動している団体もみられた。

### 2. 自団体の悩みや不安、課題

「かなりある」が 26.3%、「少しある」が 52.6%、「あまりない」が 21.1%であった。団体の 8 割が悩みや不安、課題を抱えていることがわかった。

### 3. 課題となっていること

2年前(平成28年)に実施した地域福祉推進の拠点のあり方について調査から見てきた地域課題を基に、「人」、「物」、「金」に分類し、悩みや不安、課題を聞いたが、最も回答が多かったのは、人に関することであった。

【人に関すること】については、会員の高齢化、若い会員の不足、新規会員が増えないという悩みが多く、【場・しくみ・拠点に関すること】については、活動への理解を求める声や活動がマンネリ化しているという声が多かった。【資金・資源に関すること】については、財源や補助金の不足、会員不足による会費不足に関する悩みや、中には、補助金申請ができない団体や補助金をもらわずに活動している団体もあった。

### 4. ありたい形(理想)と想定(将来)でギャップを感じること

問3と同じく、人、場、資金、その他と大きく4つに分類することができ、問3の課題と同じく、【人】の問題が多く上がった。「若い世代の活躍に期待しているが、どのように会員を増やしていけばいいのか」、【場・しくみ・拠点】の問題に関しては、「活動を活発にしていきたいが、そのためのしくみづくりがわからない」、「活動への縛りがあり、活動しにくい」、「活動場所に限りがあり、活動が広がらない」等、ありたい形(理想)とのギャップを感じていることがわかった。

### 5. 自団体の良いところ

問3や問4で、課題が色々ある中で、自団体の良いところを問いかけると、その内容は様々であったが、回答を得た38団体すべてが良いところがあると答えていた。内容としては、「皆協力的」、「皆仲良し」、「連帯感やチームワークある」、「地域との関わりがもてる」ことを多くの団体が良いところとしていた。

### 6. 自身にとって活動していて良いこと

問5と同じく、38団体すべての代表者が、活動していて良いことがあると答えていた。中でも最も多かったのは、「いろんな人と出会うことができる」が7割、その他、5割近くの方が、「いろんな経験ができる」、「学べる」、「視野がひろがる」、「感謝されてうれしい」ことが良いこととしていた。

### 7. 活動に対する満足度

「ほぼ満足」が71.1%と最も多く、「大変満足」が13.2%、「ふつう」が10.5%、「あまり満足していない」が5.3%で、「やや不満」、「かなり不満」としている活動者はいなかった。活動に対する満足度は非常に高いと感じた。

<将来について>

### 8. 5年後の1番の課題

全体の5割が「人」の問題が1番の課題と捉えていた。また、「3つすべて」、「1つ

には絞れない」という回答も3割あった。

#### 9. 自身の5年後の活動状況について

「是非続けたい」が18.4%、「健康であれば続けたい」が55.3%、「会が存続していれば続けたい」が7.9%と、全体の8割が現活動を続けていきたいとしていた。

#### 10. 自団体の5年後のありたい姿について

「若い世代が育ち活躍している」が全体の5割、「会員が増え活動が活性化している」が4割と、人の課題・問題が解決していることがありたい姿として求められていることがわかった。その他、「現状維持できている」と回答も全体の4割あった。

<福祉について>

#### 11. 福祉に対する興味について

「興味がある」が36.8%、「やや興味がある」が47.4%、「あまり興味がない」が7.9%であった。

#### 12. 『福祉』という言葉のイメージ

福祉という言葉のイメージは、一人ひとり様々であったが、いくつかの共通項目があり、その用語をキーワードとし、集約した。

キーワードとして、「幸せ」、「やさしい・思いやり」、「支える・助ける」、「安心」、というイメージを意味する内容が多くあった。

<福祉の複合施設について>

#### 13. 福祉の複合施設の利用について

利用したいかの問いに対して、「はい」が60.5%、「いいえ」が2.6%、「わからない」が31.6%であった。

#### 14. 複合施設の利用環境について

利用環境として求められる機能に大きな偏りはなく、どの機能も満遍なく回答が得られた。回答数に大きな差はないが、上位項目を上げるとすると「相談」、「子育て広場」、「バス送迎」、「体操教室」といった気軽にいける施設環境が求められていることがわかった。

その他、施設自体必要ない、市内の現状の施設で十分、維持困難という意見もあった。

#### 15. 黒部市社協に対する意見

地区行事の見直し、企業との連携強化、手話に触れる仕掛け、役員が学べる企画提案、役割・ネットワーク関係の整理を求める意見等があった。

○アンケート送付ボランティア団体一覧

No.	団体・グループ名	No.	団体・グループ名
1	生地地区ボランティア部会	31	桧扇会
2	石田地区ボランティア部会	32	ほのぼのひばり野の会
3	田家地区ボランティア部会	33	わいわいクロベ
4	村椿地区ボランティア部会	34	阿古屋野森づくりクラブ
5	大布施地区ボランティア部会	35	宇奈月赤十字奉仕団
6	三日市地区ボランティア部会	36	黒部市石田赤十字奉仕団
7	前沢地区ボランティア部会	37	宇奈月町カラオケ同好会
8	荻生地区ボランティア部会	38	高山舞踊研究会
9	若栗地区ボランティア部会	39	黒部リーディンググループ
10	東布施地区ボランティア部会	40	黒部手話サークルひまわりの会
11	(社) 黒部青年会議所	41	黒部民謡清韻会
12	NPO法人 黒部まちづくり協議会	42	黒部名水そば打ち研究会
13	YKK黒部労働組合ボランティアグループ	43	三日市まち歩きボランティアの会
14	おらはうす宇奈月	44	小扇会
15	メンタルヘルスサポーター 富山県新川厚生センター	45	松永グループ
16	越之湖ボランティア	46	松乃会くろべ
17	関西電力株式会社黒部川水力センター	47	日本語教室 in 黒部
18	黒部市食生活改善推進協議会	48	緑のミニコンサート
19	黒部市保育士会	49	こぶしカラオケ愛好会
20	黒部市姉妹都市事業推進委員会	50	大開町内婦人部
21	富山県立桜井高等学校ボランティア委員会	51	つくしの会
22	黒部市立図書館読み聞かせボランティア	52	黒部市更生保護女性会
23	アイ福祉サポート㈱	53	黒部市女性消防協力会
24	特定非営利活動法人 宇奈月自立塾	54	なんでもや一楽団
25	黒部峡谷ナチュラリスト研究会	55	宇奈月町手話サークルトロッコの会
26	青いばらサークル	56	富山県パーキンソン病友の会 はるみの会
27	おもちゃ病院 ピノキオ	57	古御堂生き生きサークル
28	さくらえパトロール隊	58	鈴の会
29	スコール収集ボランティア	59	ボランティアサポーター (個人)
30	はーとぽっぽ	60	ボランティアサポーター (個人)
計60団体			

# アンケート結果報告書

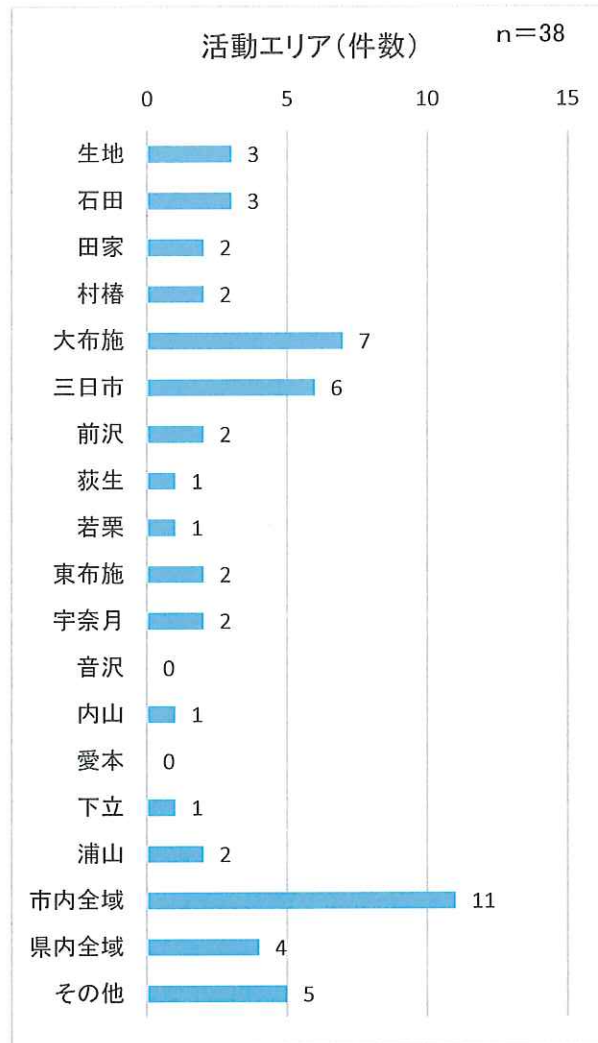
黒部市社会福祉協議会『福祉に関わる団体支援者アンケート』調査結果(ボラ団体用)

調査依頼団体総数…60団体 回収枚数…38枚 回収率…63.3%

◎ 団体活動について

1. 活動エリア (複数回答可)

	件数
生地	3
石田	3
田家	2
村椿	2
大布施	7
三日市	6
前沢	2
荻生	1
若栗	1
東布施	2
宇奈月	2
音沢	0
内山	1
愛本	0
下立	1
浦山	2
市内全域	11
県内全域	4
その他	5



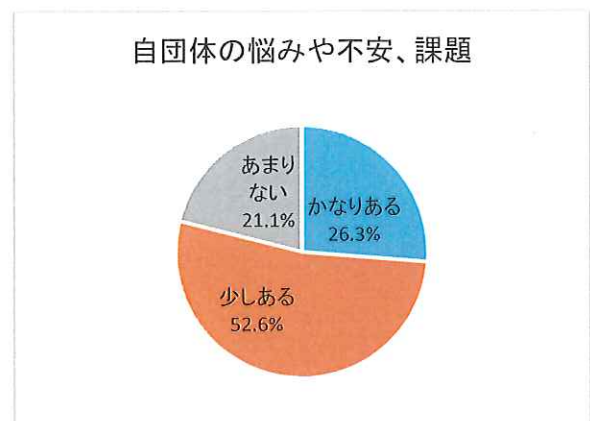
【その他】

- ・ 魚津、上市
- ・ 旧宇奈月町
- ・ 県東部主に新川広域
- ・ 福祉施設 (おらはうす宇奈月、新川むつみ園、越野荘)
- ・ 岐阜県 (飛越の森植樹に参加)

2. 自団体の悩みや不安、課題

	回答数	%
かなりある	10	26.3
少しある	20	52.6
あまりない	8	21.1
全くない	0	0.0
わからない	0	0.0
全体	38	100.0

3へ  
4へ

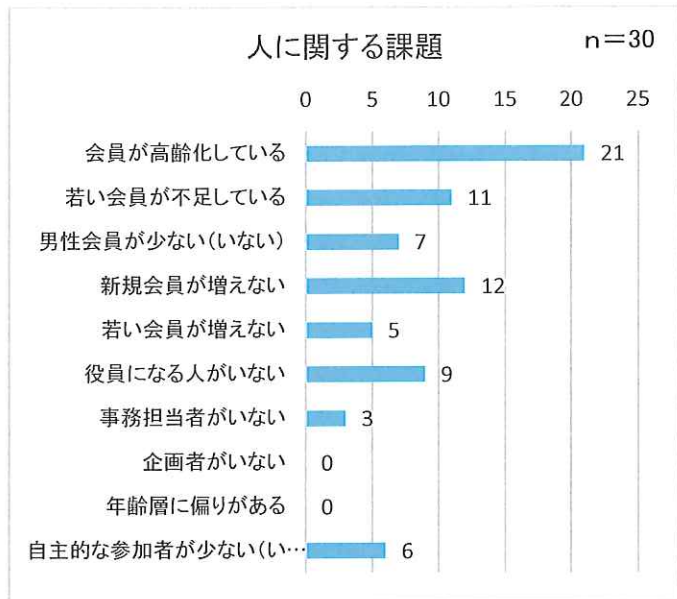




### 3. 課題となっていること（複数回答可）

#### 【人に関すること】

	回答数
会員が高齢化している	21
若い会員が不足している	11
男性会員が少ない（いない）	7
新規会員が増えない	12
若い会員が増えない	5
役員になる人がいない	9
事務担当者がいない	3
企画者がいない	0
年齢層に偏りがある	0
自主的な参加者が少ない（いない）	6
全体	74

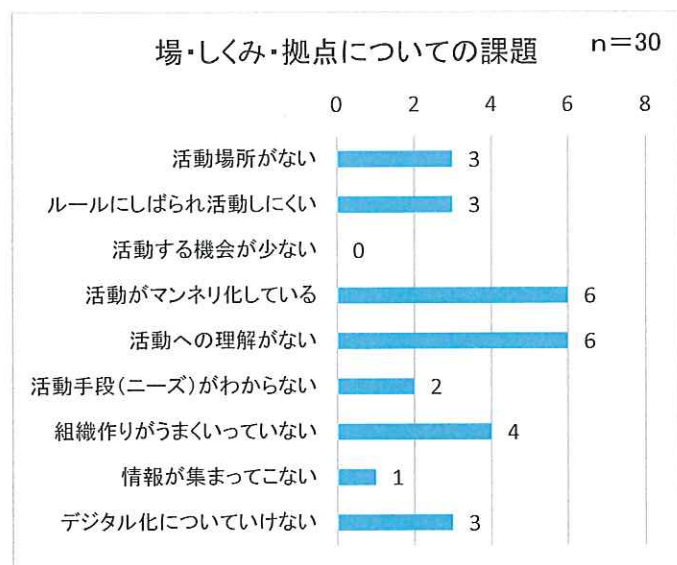


#### ◎その他自由記述

- ・会長の交代が出来ない。役員の高齢化が、若い人は嫌がる。
- ・後継者がいない。
- ・必要な人材を準備するのに苦労する。（特に保育担当）
- ・高齢・病気などで脱会する会員がボツボツ出てきている。
- ・事務担当補助者がいない。
- ・人数については、各町内にて調整するため、大きな問題はなし
- ・一部のろう者に独特の世界がある様で、明るいサークル活動に悪影響を及ぼしている。
- ・地区内の振興会等の役員と社協の役員の重なりが多くなり義務的になりつつある。自由にボランティア活動をしようとする人が入りにくくなり、広がりが望めない。
- ・連絡網がうまく活用されていない。

#### 【場・しくみ・拠点に関すること】

	回答数
活動場所がない	3
ルールにしばられ活動しにくい	3
活動する機会が少ない	0
活動がマンネリ化している	6
活動への理解がない	6
活動手段（ニーズ）がわからない	2
組織作りがうまくいっていない	4
情報が集まってこない	1
デジタル化についていけない	3
全体	28

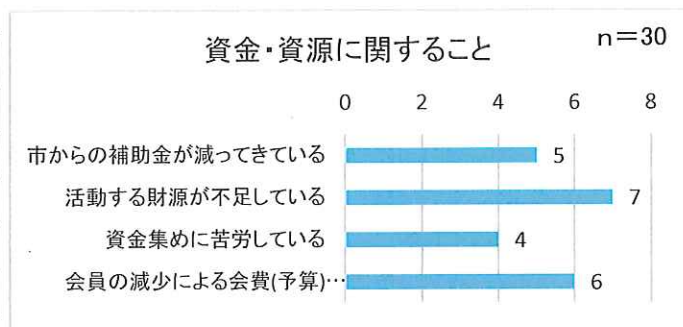


◎その他自由記述

- ・色々ある場がわからない。
- ・活動が多すぎて、ガソリン代、クリーニング代等、いろいろな費用がかかっています。又、会員も少なくなり悩んでいます。
- ・活動するにあたり、多数の教材があるがそれを保存する場がない。
- ・活動に参加したいが、専門知識がないのでという声が聞く。
- ・活動場所の地区公民館が老朽化している。冷房設備、クーラーがない。備品も少ない。
- ・活動への参加はパーフェクトだが、組織的に確立が足りないように思う。
- ・日本食生活県食生活改、県農林水産課の事業のしぼりが厳しくやりづらい。
- ・保健センターの取り壊しに伴い、台所がなくなり、会員が一同に研修を受けられない為、同じ研修を2度しています。
- ・現状は、かなり上手に運営していると思います。
- ・作業マニュアル通り実施
- ・ほぼよし

【資金・資源に関すること】

	回答数
市からの補助金が減ってきている	5
活動する財源が不足している	7
資金集めに苦勞している	4
会員の減少による会費(予算)不足	6
全体	22

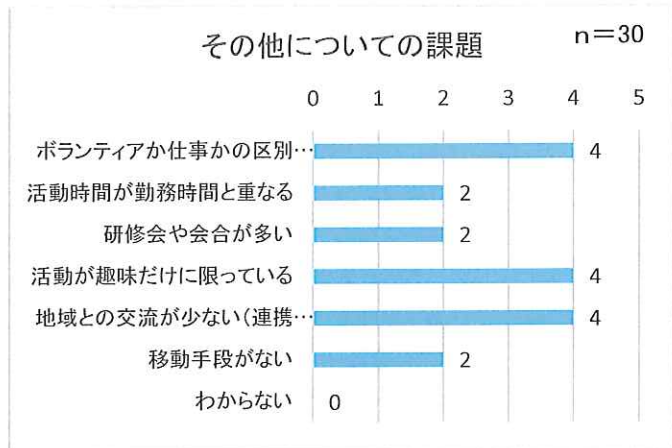


◎その他自由記述

- ・今まで（会員が多い時）のように、講師への謝礼などできにくい。
- ・カウベルト事業に対する補助金が年々減少している。
- ・カウベルト事業の維持、更新費用（電気柵のクイ、電線の更新、バッテリーの維持など）
- ・刈払機の刃の更新、燃料費など
- ・市からの補助金などもらっていません。ほとんどボランティアです。
- ・自主活動の資金もわずかですが、自分達（イベントに出店して）の収入としている。
- ・事務局がない為、補助金の手続きができない。
- ・諸行事は極力会員負担で行っている。新川圏内サークルでは、年会費は高い方であるが…。
- ・地区社協から補助があるのでその範囲内で
- ・会費が1,000円upした。

## 【その他】

	回答数
ボランティアか仕事かの区別がつかない	4
活動時間が勤務時間と重なる	2
研修会や会合が多い	2
活動が趣味だけに限っている	4
地域との交流が少ない(連携不足)	4
移動手段がない	2
わからない	0
全体	18



### ◎その他自由記述

- ・ある程度の専門的知識も必要となり、研修会が開催したいが、なかなかできない。(様々な要因による)
- ・活動内容をどう地域の方々に知ってもらったらよいか分からない。
- ・近辺へ出かける時、送迎を頼める所は良いがその他は役員の車を使う事がある。
- ・すべてボランティアと割り切っているが、心身ともに負担が多すぎ、金銭面も同じく
- ・地域ではボランティアグループの認知度もあり、振興会との連携もとれている。
- ・何事も費用は自己負担です。
- ・ろう者・聴者の交流を深め、手話やろう者理解を黒部地域に広げていく努力はしている。
- ・私達の今の活動時間と仕事を持っている人の活動出来る時間が合わない。
- ・公民館の主事、副主事が役員となり、仕事としてなのかボランティアとしてなのかの区別がはっきりしない。

## 4. 自団体のありたい形(理想)と想定(将来)でギャップを感じるのほどのようなことですか。

### 【人】の問題

- ・若い会員が少ない。
- ・若い世代に活躍してもらいたいですが、なかなか会員が増えない。
- ・若い世代に活躍してもらいたいですが人材不足で若い会員が増えない。
- ・若い世代にボランティア等一緒に活動したいが、大学や専門学校なども近くになく協力ができない。
- ・若い世代の会員を増やしたいが、活動の内容が伝わりにくく、今後の課題と考える。
- ・定年延長等で働く人が増え、若い世代の会員増が難しい。
- ・会員の確保が難しい。どのように引き込むか課題
- ・現会員には、活動に理解は得ているが、新規会員がなかなか増えない。
- ・男性とのバランスをとりたいが、現在は女性参加者のみのため、新しい男性が入ってもなじめず離れていく。
- ・30～50歳代の方に、地域におけるボランティア団体の活動内容を理解してもらい、もっともっと参加してもらいたい。しかし、若い世代と今現在の会員との間で可能な活動日時等が合わず、よって、名前だけの会員になってしまう恐れがある。
- ・60代の男性等、地区にはかなりおられるが、役員加入は現在では無理

- ・地区内の60代の人に会に入ってくれるよう勧めても、入会してもらえない。町内会からも支援、PRして欲しいと思うが、会員増加は難しい。介護予防活動活性化は地域全体の問題、段々個人主義化して困難である。

- ・地域からの要望（ボランティアを含めた若い人の参加）には極力答えたいが、それを希望する生徒が部活動等が忙しく少ないのが悩みです。

- ・演芸ボランティアで踊りの衣装など変えて、演芸種目も増やしたいが、人員不足になってきて、今までのようににぎやかなものが演じられない。

- ・グループを団体にしたいが、代表に就きたい者がいないため、団体にできない。

- ・保育の質の向上を願うが、部会員の年齢が若く経験が少ないため、うまくいかない部分が多い。

### 【場・しくみ・拠点】の問題

- ・会社として福祉活動を行うことによって、個々人としての活動の必要性を感じていただき、個人参加のボランティアに積極的に参加する思いを育みたいと考えているが、難しい。

- ・活動の内容によっては、本来、行政など公的機関がすべきものもあるので、ボランティアの域を越えているような感じもあり、心身共に疲弊しやすい。

- ・活動への理解を深めたいが、高齢のため、活動が活性化しない。

- ・ただ介護予防の為の集会場での活動など無償ボランティアだけに頼るような計画は無理と思う。

- ・旧宇奈月町と合併した時は各地にあった食改ですが、今あるのは下立のみになり、地区活動が出来ない為、役員が交代で宇奈月町の各地区へ教室の手伝いに行っている。

- ・自分達で決めた事（活動）をすぐやりたくても消防団という大きな組織の中の1分団なので、階段をふまないと活動出来ない。

- ・引きこもりや困窮状態にある方々の情報を少しでも集めたいが、個人情報保護の問題等で支援までなかなか結びつかない。活動内容を様々な方に知ってもらいたいが、広報が得意なスタッフがいないので、近隣の認知が進まない。

- ・然し、不満分子に理解を得る事の困難が立ちはだかる。

- ・保育の出前を行っていきだが、活動場所が限られていて広がらない。

### 【資金・資源】の問題

- ・会費で運営費を賄っている事と公益事業のルールがある為、資金的に苦しい。

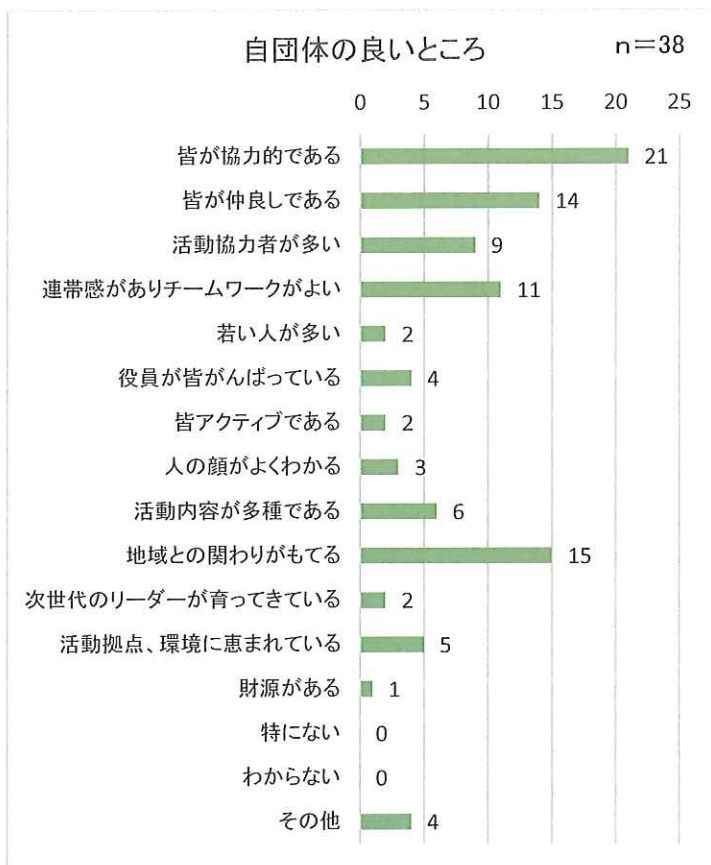
### 【その他】

- ・活動の活性化に努力している事は自信をもって言える。

- ・活動の目的は、犯罪のない明るい社会を目指して行う活動なので、年齢にはあまりこだわりがなく考えています。

## 5. 自団体の良いところ（3つまで）

	回答数
皆が協力的である	21
皆が仲良しである	14
活動協力者が多い	9
連帯感がありチームワークがよい	11
若い人が多い	2
役員が皆がんばっている	4
皆アクティブである	2
人の顔がよくわかる	3
活動内容が多種である	6
地域との関わりがもてる	15
次世代のリーダーが育ってきている	2
活動拠点、環境に恵まれている	5
財源がある	1
特にない	0
わからない	0
その他	4
全体	99

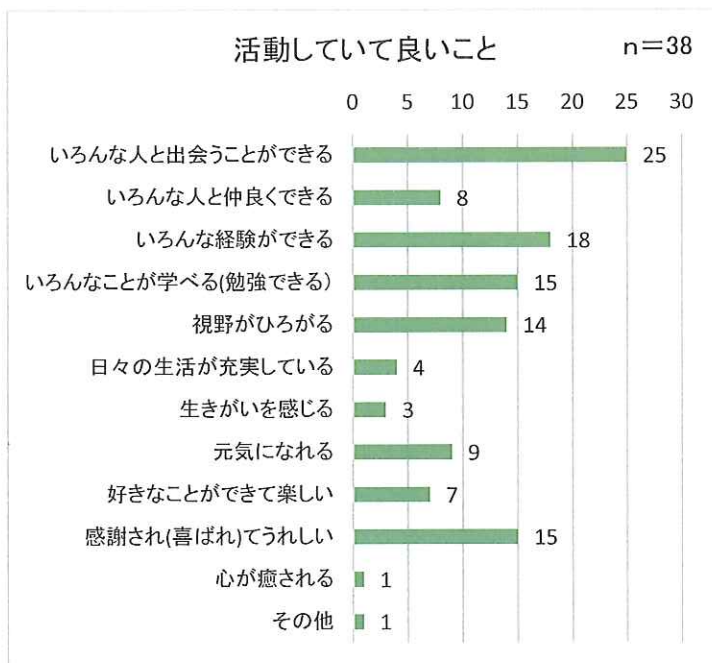


### 【その他】

- ・会長を中心に良い雰囲気である。問3.4については今後とも正義を持って対応していきたい。
- ・参加者の絆や連携が強くなり、笑顔や話が多く仲良くなり、お互い地区を気遣うようになった。
- ・介護予防に役立っている。
- ・町内会の行事も提案し、合同参加で交流を深めるようにしている。
- ・少人数で和気あいあいとしている。
- ・利用者に喜ばれている。

## 6. 自身にとって活動していて良いこと（3つまで）

	回答数
いろんな人と出会うことができる	25
いろんな人と仲良くできる	8
いろんな経験ができる	18
いろんなことが学べる(勉強できる)	15
視野がひろがる	14
日々の生活が充実している	4
生きがいを感じる	3
元気になれる	9
好きなことができて楽しい	7
感謝され(喜ばれ)てうれしい	15
心が癒される	1
その他	1
全体	120

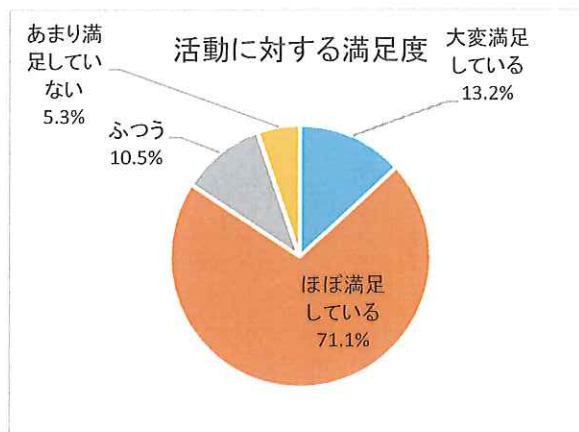


【その他】

- ・市から感謝状を頂く
- ・会長は手話学習にとっても熱心で感謝している。交流会もサークル内、地域、県ろう業界に積極的に参加している。

7. 活動に対する満足度

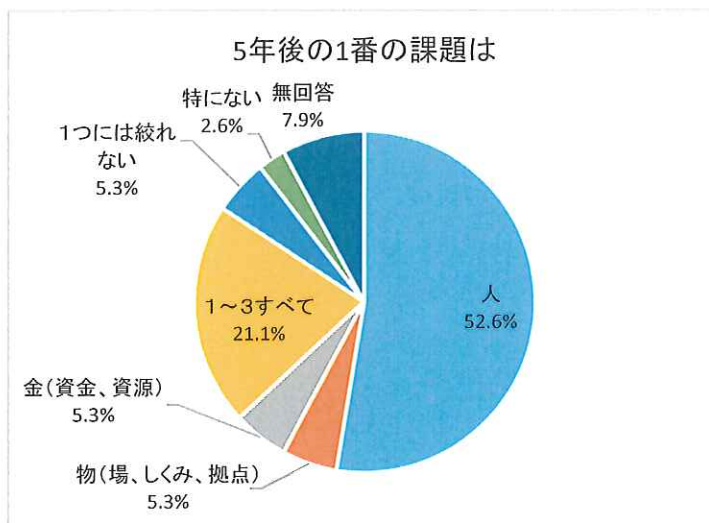
	回答数	%
大変満足している	5	13.2
ほぼ満足している	27	71.1
ふつう	4	10.5
あまり満足していない	2	5.3
やや不満である	0	0.0
かなり不満である	0	0.0
全体	38	100.0



◎ 将来について

8. 5年後の1番の課題

	回答数	%
人	20	52.6
物(場、しくみ、拠点)	2	5.3
金(資金、資源)	2	5.3
1～3すべて	8	21.1
1つには絞れない	2	5.3
特にない	1	2.6
わからない	0	0.0
無回答	3	7.9
全体	38	100.0

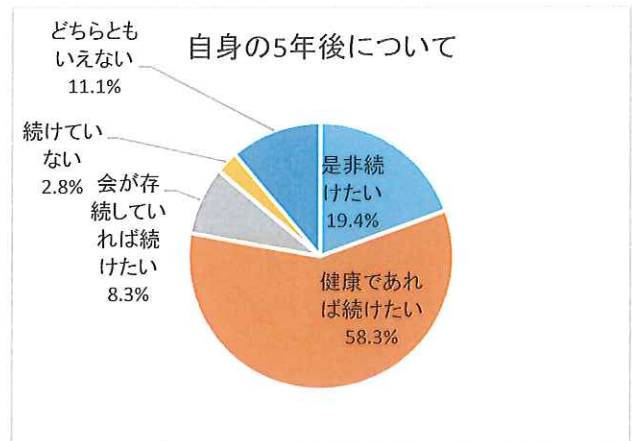


【その他】

- ・市民パトロールの必要性
- ・手話の普及
- ・ほとんどの会員が80代に
- ・会員の高齢化(ろう者、聴者)
- ・仕事も延長されて、ボランティアもできなくなるのではないか。

## 9. 自身の5年後の活動状況について

	回答数	%
是非続けたい	7	18.4
健康であれば続けたい	21	55.3
会が存続していれば続けたい	3	7.9
多分やめている	0	0.0
続けていない	1	2.6
どちらともいえない	4	10.5
その他	2	5.3
全体	38	100.0

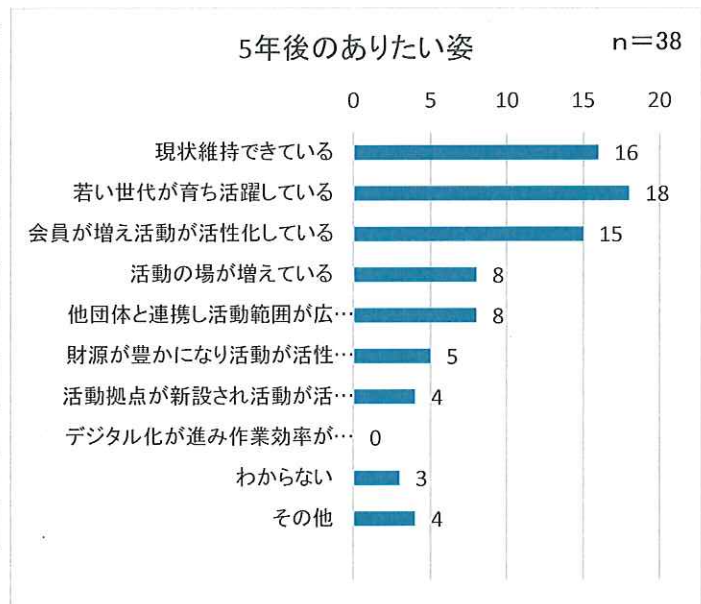


### 【その他】

- ・何らかの社会奉仕は必要と思って、より形を変えて実施していると思う。（個人参加）企業としては活動を維持していると思う。
- ・現会長を中心にサークルと改著を援護

## 10. 自団体の5年後のありたい姿について（複数回答可）

	回答数
現状維持できている	16
若い世代が育ち活躍している	18
会員が増え活動が活性化している	15
活動の場が増えている	8
他団体と連携し活動範囲が広がっている	8
財源が豊かになり活動が活性化している	5
活動拠点が新設され活動が活性化している	4
デジタル化が進み作業効率がよくなっている	0
わからない	3
その他	4



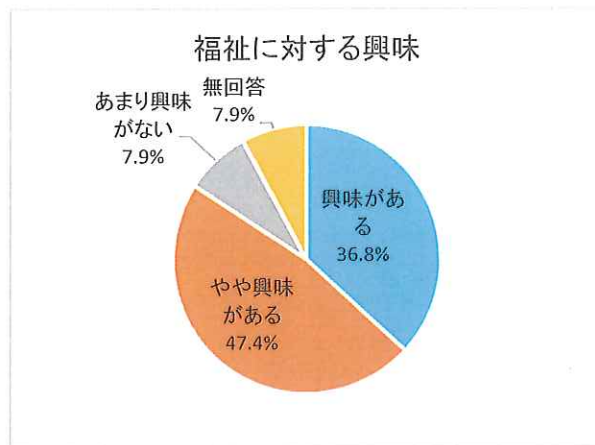
### 【その他】

- ・地域の一員として必要な活動であり、継続実施すると感じている。
- ・サークルも明るい雰囲気を取り戻し、③はもとより市民の手話・ろう者理解が広まっている事です。
- ・市、社協のサポートの継続を切望
- ・地区社協が純粋にボランティア活動をしようとする一般の人が気軽に参加できる開かれた場所であって欲しい。
- ・メンバー12名、健康で踊りを楽しみたい。

◎ 福祉について（個人としてお答えください）

11. 福祉に対する興味について

	回答数	%
興味がある	14	36.8
やや興味がある	18	47.4
あまり興味がない	3	7.9
全く興味がない	0	0.0
わからない	0	0.0
無回答	3	7.9
全体	38	100.0



12. 『福祉』という言葉のイメージ

幸せ

- ・ 幸せな暮らし
- ・ 安全安定した楽しく、幸せな暮らしができる
- ・ 誰もが幸せだと思える暮らしができる社会（まずは健康で生きがいのある生活）
- ・ 誰もが等しく得る幸せな暮らし
- ・ 人々の幸福安定した生活

やさしい・思いやり

- ・ 思いやり
- ・ 思いやりと難しさ
- ・ 一番近くに住む人同士がお互いを気づかい思いやる事
- ・ 高齢になるにつれ、自分自身で動けなくなった場合、人と人のつながり、手伝い、思いやりなど
- ・ 人と人のつながりによって、相手を思いやれる心ができる。イコール「やさしさ」「幸せ」につながると思っています。
- ・ 人にやさしい心を持って接すること
- ・ やさしい
- ・ その様な方々に寄り添える行動
- ・ 戦争後に生まれた私達（70才前後）は、勤務を終了しているなら幸せな生活であると思えます。その上「福祉」とはやさしい

安心

- ・ 平等、安心、安定



## 支える・助ける

- ・ 支え合い
- ・ 皆が支える社会
- ・ 地域支え合いがあれば、有無の時も乗り越えられると思う。
- ・ 自分の大きな心の支えになって下さる大切なもの
- ・ 一般市民の助け合い
- ・ ボランティア活動により助け合うこと
- ・ (困っているほかの人を) 自分のできる範囲で助力する。
- ・ 善意のこころ、困った時の救いの手

## 社会

- ・ 社会全体が協力して皆がよりよく生きること
- ・ 社会のためになる
- ・ 誰もが笑顔で暮らせる社会
- ・ 協力者、団体活動等の集まり

## その他

- ・ 普通に暮らせる事
- ・ 物ではなく、心豊かな暮らし
- ・ 目配り、気配りで人を前向きにさせる
- ・ 相手の声に耳を傾け、一緒に考え、よりよく生きること
- ・ 自分以外の誰かの立場に立って考えること

### ◎ 福祉の複合施設について (個人としてお答えください)

#### 13. 複合施設ができたなら利用するか

	回答(人)	%
はい	23	60.5
いいえ	1	2.6
わからない	12	31.6
無回答	2	5.3
全体	38	100.0

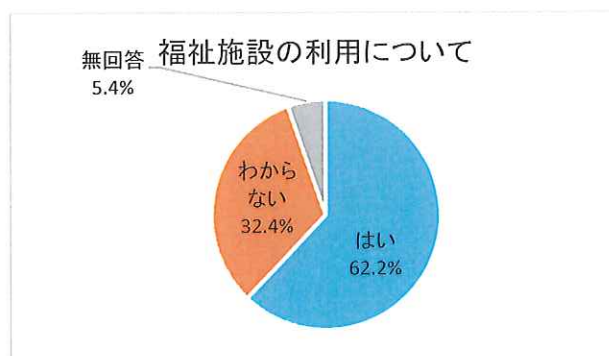
#### 【具体的な理由】

##### ①はいと答えた方

- ・ かっこ付けて引きこもらなくてもいい空間があれば楽しいと思います。
- ・ 市の施設でしたら使用料を出さなくても良いから
- ・ 生徒にとって福祉を学べ、異世代の方との交流できる場であれば利用させたいと思います。
- ・ 当団体の活動として困っている方の情報を少しでも早く手に入れ、早期支援につなげたいため
- ・ 毎日でも行きたくなる様ないろんなイベントがあり、気楽に利用出来ればいいなあと思う。
- ・ ワンストップで市の概括が分かり、体験や利用が出来る。大いに期待です。

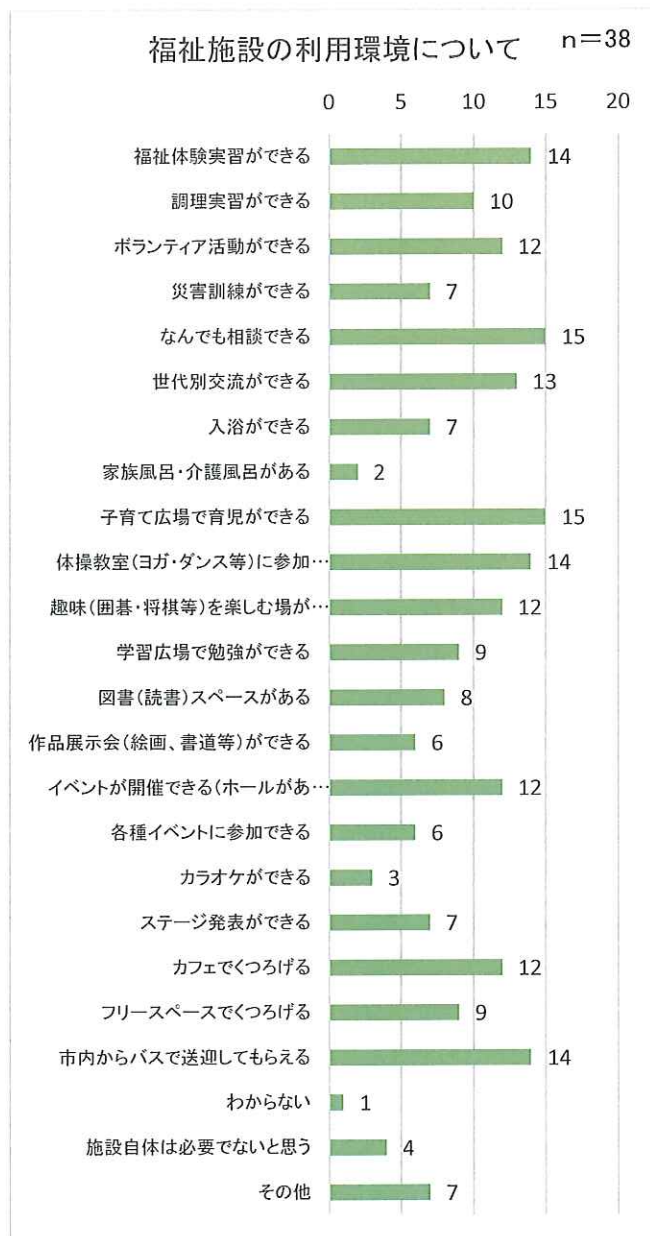
##### ②いいえと答えた方

- ・ 箱物はいらないうです。



14. 複合施設の利用環境について（複数回答可）

No.		回答数
1.	福祉体験実習ができる	14
2.	調理実習ができる	10
3.	ボランティア活動ができる	12
4.	災害訓練ができる	7
5.	なんでも相談できる	15
6.	世代別交流ができる	13
7.	入浴ができる	7
8.	家族風呂・介護風呂がある	2
9.	子育て広場で育児ができる	15
10.	体操教室（ヨガ・ダンス等）に参加できる	14
11.	趣味（囲碁・将棋等）を楽しむ場がある	12
12.	学習広場で勉強ができる	9
13.	図書（読書）スペースがある	8
14.	作品展示会（絵画、書道等）ができる	6
15.	イベントが開催できる（ホールがある）	12
16.	各種イベントに参加できる	6
17.	カラオケができる	3
18.	ステージ発表ができる	7
19.	カフェでくつろげる	12
20.	フリースペースでくつろげる	9
21.	市内からバスで送迎してもらえる	14
22.	わからない	1
23.	施設自体は必要でないと思う	4
24.	その他	7



【その他】

- ・ 1～21までできるものはすべてあった方が多くの方が利用できると思う。
- ・ 行きたくなる場所、風良い気であればカフェも良いけど、楽しくランチできれば良い。
- ・ 各世代が利用できる事
- ・ 現在ある事業所のサービスとほとんど同じ。どこが差別化されるのか解らない。
- ・ 現在のイメージでは高齢の方の為の施設、例えばトレーニングマシンを設置したルーム等を作ったりして、どの世代でも利用したいと思える様な箱にしていただけければ、自然に老若より添えるようになれるかも。
- ・ 上記の内容を日中だけでなく働きざかりの若い世代も利用できるように夜間も開放しているといいと思う。
- ・ 福祉関係の相談窓口の機能
- ・ 少子化、高齢化時代に箱物建造に維持が困難ではと思う。
- ・ 市内の現状施設で十分である。

15. その他、黒部市社会福祉協議会に対するご意見、ご質問があれば記入してください。

・福祉への理解活動のため、もっと会員を増やす。（例：もっと従業員数の多い企業等へ声かけ等を実施する等）ことが大切であると感じている。

・各地区公民館へ介護予防、クラブ事業やふれあい事業など、補助金も出て活動のための支援など市も大変なことと思います。市も各公民館も地区のお年寄りの方々も多忙となっています。少し行事が多いのでは？

・運転免許のあるまではいくことができるが、なくなり、やめた時からバスが必要になるのではないですか。曜日によりお迎えにきていただいておりますが、福祉・センター廻りのバス（市バス）もあればいいのではと思います。

・黒部市の人、風土共に良いと感じているので、共感してもらえる人、法人がたくさんいるはずで  
す。

・手話を楽しむ、手話に触れる仕掛けをお願い出来ればと思います。

・地域福祉の原点はケアネット活動と思います。市で展開する黒部ネットの拡充に強力に後押しを  
とします。

・私達の見えない所でがんばっておられる事に感謝します。役員も学べる様な企画をこれからもお  
願いします。

・いつもお世話になり、ありがとうございます

・今現在、ボランティア団体に携わらせて頂いていますが、いざ地域の中で相談が必要となるケー  
スにいきあたっても、どこにどのように相談をもちかければよいか私自身分かっていないのが正直  
な所です。市には様々なボランティア団体、ネットワーク等がありますが、言葉じりだけが浸透  
し、共有し活動までは至っていないが、現状かと思えます。まずはこのアンケートを配布してい  
ただいた私達から、今一度各団体の役割とネットワーク関係を整理理解し、具体的にどうつなげてい  
くのかを学び、共有していく機会があればと思います。

# アンケートフォーマット



問8 これまでに民生児童委員として相談を受けたことのある内容について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1. 育児・子育て       | 20. 住民との摩擦・トラブル        |
| 2. ひとり親         | 21. 住居（空き家・アパート含む）     |
| 3. 独居           | 22. ゴミ問題               |
| 4. こどもの貧困       | 23. 交通・移動手段            |
| 5. 貧困           | 24. 災害時の対応             |
| 6. 生活保護         | 25. 金銭(財産・遺産・借金等)      |
| 7. 青少年非行        | 26. 仕事                 |
| 8. 犯罪           | 27. 生活困窮(失業・多重債務)      |
| 9. 孤立           | 28. 移住者                |
| 10. 引きこもり       | 29. 外国人                |
| 11. 不登校         | 30. 2025問題             |
| 12. 児童虐待(乳幼児含む) | 31. 8050問題             |
| 13. 高齢者虐待       | 32. 日常生活支援（買い物・ゴミ出し等）  |
| 14. 障がい者虐待      | 33. ハラスメント（パワハラ、セクハラ等） |
| 15. 家庭内暴力（DV含む） | 34. ストーカー              |
| 16. 介護          | 35. インターネットトラブル        |
| 17. 認知症         | 36. その他                |
| 18. 障がい         | 〔 〕                    |
| 19. 見守り         |                        |

問9 近年、民生児童委員として相談件数が増えたもの、増えてきたと感じる課題は何ですか。最もあてはまるものに○をつけてください。（最高5つまで）

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1. 育児・子育て       | 20. 住民との摩擦・トラブル        |
| 2. ひとり親         | 21. 住居（空き家・アパート含む）     |
| 3. 独居           | 22. ゴミ問題               |
| 4. こどもの貧困       | 23. 交通・移動手段            |
| 5. 貧困           | 24. 災害時の対応             |
| 6. 生活保護         | 25. 金銭(財産・遺産・借金等)      |
| 7. 青少年非行        | 26. 仕事                 |
| 8. 犯罪           | 27. 生活困窮(失業・多重債務)      |
| 9. 孤立           | 28. 移住者                |
| 10. 引きこもり       | 29. 外国人                |
| 11. 不登校         | 30. 2025問題             |
| 12. 児童虐待(乳幼児含む) | 31. 8050問題             |
| 13. 高齢者虐待       | 32. 日常生活支援（買い物・ゴミ出し等）  |
| 14. 障がい者虐待      | 33. ハラスメント（パワハラ、セクハラ等） |
| 15. 家庭内暴力（DV含む） | 34. ストーカー              |
| 16. 介護          | 35. インターネットトラブル        |
| 17. 認知症         | 36. その他                |
| 18. 障がい         | 〔 〕                    |
| 19. 見守り         |                        |

問10 民生児童委員として活動していく上で、以下の項目について、個人的にどのように感じていますか。各【項目】ごとに、あてはまるもの1つに○をつけてください。

【会合・会議への参加】

1. かなり大変である
2. やや大変である
3. ふつう
4. あまり大変ではない
5. 大変と思ったことはない

【事務作業・提出物】

1. かなり大変である
2. やや大変である
3. ふつう
4. あまり大変ではない
5. 大変と思ったことはない

【訪問・相談】

1. かなり大変である
2. やや大変である
3. ふつう
4. あまり大変ではない
5. 大変と思ったことはない

【地区行事等への参加】

1. かなり大変である
2. やや大変である
3. ふつう
4. あまり大変ではない
5. 大変と思ったことはない

【研修・勉強会】

1. かなり大変である
2. やや大変である
3. ふつう
4. あまり大変ではない
5. 大変と思ったことはない

【その他自由記述】

( )

問11 現在、民生児童委員の活動にしている中で、自身の悩みや不安、課題はありますか。

1. ある
2. ない

→ 具体的にお聞かせください

( )

問12 民生委員活動において、ありたい形(理想)と想定(将来)でギャップを感じることはありますか。記入例を参考に記述してください。

- 【記入例】○○したいが、○○によって、○○ができない
- ・ 活動への理解を深めたいが、認知度が低く、なかなか理解を得られない
  - ・ 若い世代に活躍してもらいたいですが、人材不足で、若い委員が増えない
  - ・ 財源があれば活動範囲が広がるが、財源不足によって、活動が活性化しない
  - ・ デジタル化で仕事の効率を上げたいが、高齢のため、ついていけない 等

( )

◎ 外部との関わりについて

問13 民生児童委員として、行政・地区・専門機関・社協との関わりについて、どのように感じていますか。各【項目】ごとに最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【行政との関わり】

1. かなり強い      2. 強い      3. ふつう      4. やや弱い      5. 非常に弱い

【地区との関わり】

1. かなり強い      2. 強い      3. ふつう      4. やや弱い      5. 非常に弱い

【専門機関との関わり】

1. かなり強い      2. 強い      3. ふつう      4. やや弱い      5. 非常に弱い

【社協との関わり】

1. かなり強い      2. 強い      3. ふつう      4. やや弱い      5. 非常に弱い

◎ 福祉について（個人としてお答えください）

問14 あなたが思う『福祉』とは…？ひと言で伝えるとしたらどのように表現しますか。

（例）やさしい、幸せな暮らし、難しくてわからない 等

[ ]

◎ 福祉の複合施設について（個人としてお答えください）

※福祉の複合施設とは？

福祉の総合的な学びや支援、相談ができる場としての活用、さらには誰もが集える場として活用できる複合的な施設のこと

問15 あなたは、黒部市に福祉の複合施設ができたなら利用したいですか。

1. はい      具体的な理由があれば記入してください  
2. いいえ ⇒  
3. わからない

[ ]



問16 福祉の複合施設ができた場合、あなたは、どのようなことができる施設がよいと考えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 福祉体験実習ができる
2. 調理実習ができる
3. ボランティア活動ができる
4. 災害訓練ができる
5. なんでも相談できる
6. 世代別交流ができる
7. 入浴ができる
8. 家族風呂・介護風呂がある
9. 子育て広場で育児ができる
10. 体操教室（ヨガ・ダンス等）に参加できる
11. 趣味（囲碁・将棋等）を楽しむ場がある
12. 学習広場で勉強ができる
13. 図書（読書）スペースがある
14. 作品展示会（絵画、書道等）ができる
15. イベントが開催できる（ホールがある）
16. 各種イベントに参加できる
17. カラオケができる
18. ステージ発表ができる
19. カフェでくつろげる
20. フリースペースでくつろげる
21. 市内からバスで送迎してもらえる
22. わからない
23. 施設自体は必要でないと思う
24. その他

( )

問17 その他、黒部市社会福祉協議会に対するご意見、ご質問があれば記入してください。

ご協力ありがとうございました  
黒部市社会福祉協議会

【ボランティア登録団体用】

黒部市社会福祉協議会『福祉に関わる団体支援者アンケート』

団体名 ( ) 記入日 平成30年 月 日

代表者名 ( ) 記入者名 ( )

◎ 団体活動について

問1 自団体の活動エリアはどちらですか。該当する箇所に○をつけてください。

- |         |          |          |             |         |
|---------|----------|----------|-------------|---------|
| 1. 生地   | 2. 石田    | 3. 田家    | 4. 村椿       | 5. 大布施  |
| 6. 三日市  | 7. 前沢    | 8. 荻生    | 9. 若栗       | 10. 東布施 |
| 11. 宇奈月 | 12. 音沢   | 13. 内山   | 14. 愛本      | 15. 下立  |
| 16. 浦山  | 17. 市内全域 | 18. 県内全域 | 19. その他 ( ) |         |

問2 現在活動している自団体について、人、場、資金等に関する悩みや不安、課題はありますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |          |       |          |       |
|----------|-------|----------|-------|
| 1. かなりある | } 問3へ | 3. あまりない | } 問4へ |
| 2. 少しある  |       | 4. 全くない  |       |
|          |       | 5. わからない |       |

問3 問2で「1.かなりある、2.少しある」と答えた方に聞きます。それはどのようなことですか。テーマごとにあてはまるものすべてに○をつけてください。

※あてはまるものすべてに○をつけてください。

【人に関すること】

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 会員が高齢化している     | 9. 年齢層に偏りがある          |
| 2. 若い会員が不足している    | 10. 自主的な参加者が少ない (いない) |
| 3. 男性会員が少ない (いない) | 11. その他自由記述           |
| 4. 新規会員が増えない      | [ ]                   |
| 5. 若い会員が増えない      |                       |
| 6. 役員になる人がいない     |                       |
| 7. 事務担当者がいない      |                       |
| 8. 企画者がいない        |                       |

※あてはまるものすべてに○をつけてください。

【場・しくみ・拠点に関すること】

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. 活動場所がない           | 9. デジタル化についていけない |
| 2. ルールにしばられ活動しにくい    | 10. その他自由記述      |
| 3. 活動する機会が少ない        | [ ]              |
| 4. 活動がマンネリ化している      |                  |
| 5. 活動への理解がない         |                  |
| 6. 活動手段 (ニーズ) がわからない |                  |
| 7. 組織作りがうまくいっていない    |                  |
| 8. 情報が集まってこない        |                  |

※あてはまるものすべてに○をつけてください。

【資金・資源に関すること】

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 市からの補助金が減ってきている  | 5. その他自由記述 |
| 2. 活動する財源が不足している    | 〔          |
| 3. 資金集めに苦勞している      |            |
| 4. 会員の減少による会費(予算)不足 |            |

※あてはまるものすべてに○をつけてください。

【その他】

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1. ボランティアか仕事かの区別がつかない | 8. その他自由記述 |
| 2. 活動時間が勤務時間と重なる      | 〔          |
| 3. 研修会や会合が多い          |            |
| 4. 活動が趣味だけに限っている      |            |
| 5. 地域との交流が少ない(連携不足)   |            |
| 6. 移動手段がない            |            |
| 7. わからない              |            |

問4 自団体のありたい形(理想)と想定(将来)でギャップを感じるのはどのようなことですか。記入例を参考に記述してください。

【記入例】 ○○したいが、○○によって、○○ができない

- ・ 活動への理解を深めたいが、認知度が低く、なかなか理解を得られない
- ・ 若い世代に活躍してもらいたい、人材不足で、若い会員(職員)が増えない
- ・ 財源があれば活動範囲が広がるが、財源不足によって、活動が活性化しない
- ・ デジタル化で仕事の効率を上げたいが、高齢のため、ついていけない 等

問5 自団体の今、良いところはありますか。

最もあてはまるものに○をつけてください(3つまで)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 皆が協力的である        | 11. 次世代のリーダーが育ってきている |
| 2. 皆が仲良しである        | 12. 活動拠点、環境に恵まれている   |
| 3. 活動協力者が多い        | 13. 財源がある            |
| 4. 連帯感がありチームワークがよい | 14. 特にない             |
| 5. 若い人が多い          | 15. わからない            |
| 6. 役員が皆がんばっている     | 16. その他              |
| 7. 皆アクティブである       | 〔                    |
| 8. 人の顔がよくわかる       |                      |
| 9. 活動内容が多種である      |                      |
| 10. 地域との関わりがもてる    |                      |

問6 ご自身が活動していて今、良いことはありますか。  
最もあてはまるものに○をつけてください（3つまで）

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1. いろいろな人と出会うことができる   | 11. 心が癒される |
| 2. いろいろな人と仲良くできる      | 12. 特にない   |
| 3. いろいろな経験ができる        | 13. わからない  |
| 4. いろいろなことが学べる(勉強できる) | 14. その他    |
| 5. 視野がひろがる            | 〔          |
| 6. 日々の生活が充実している       |            |
| 7. 生きがいを感じる           |            |
| 8. 元気になれる             |            |
| 9. 好きなことができて楽しい       |            |
| 10. 感謝され(喜ばれ)てうれしい    |            |

問7 あなた自身、現在の活動に満足していますか。  
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 大変満足している   | 2. ほぼ満足している | 3. ふつう      |
| 4. あまり満足していない | 5. やや不満である  | 6. かなり不満である |

◎ **将来について**

問8 自団体の5年後を想定して、1番の課題は何と考えますか。  
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1. 人           | 7. わからない |
| 2. 物(場、しくみ、拠点) | 8. その他   |
| 3. 金(資金、資源)    | 〔        |
| 4. 1~3すべて      |          |
| 5. 1つには絞れない    |          |
| 6. 特にない        |          |

問9 あなた自身、5年後も今の活動を続けていたいと感じていますか？  
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                  |        |
|------------------|--------|
| 1. 是非続けたい        | 7. その他 |
| 2. 健康であれば続けたい    | 〔      |
| 3. 会が存続していれば続けたい |        |
| 4. 多分やめている       |        |
| 5. 続けていない        |        |
| 6. どちらともいえない     |        |

問10 自団体の5年後、理想的な姿、ありたい姿、目標、目指すべきところは？  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 現状維持できている
2. 若い世代が育ち活躍している
3. 会員が増え活動が活性化している
4. 活動の場が増えている
5. 他団体と連携し活動範囲が広がっている
6. 財源が豊かになり活動が活性化している
7. 活動拠点が新設され活動が活性化している
8. デジタル化が進み作業効率がよくなっている
9. わからない
10. その他

( )

◎ **福祉について（個人としてお答えください）**

問11 あなたは、福祉に興味がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 興味がある
2. やや興味がある
3. あまり興味がない
4. 全く興味がない
5. わからない

問12 あなたが思う『福祉』とは…？ひと言で伝えるとしたらどのように表現しますか。

(例) やさしい、幸せな暮らし、難しくてわからない 等

( )

◎ **福祉の複合施設について（個人としてお答えください）**

※福祉の複合施設とは？

福祉の総合的な学びや支援、相談ができる場としての活用、さらには  
誰もが集える場として活用できる複合的な施設のこと

問13 あなたは、黒部市に福祉の複合施設ができたなら利用したいですか。

1. はい具体的な理由があれば記入してください
2. いいえ ⇒
3. わからない

( )

問14 福祉の複合施設ができた場合、あなたは、どのようなことができる施設がよいと考えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 福祉体験実習ができる
2. 調理実習ができる
3. ボランティア活動ができる
4. 災害訓練ができる
5. なんでも相談できる
6. 世代別交流ができる
7. 入浴ができる
8. 家族風呂・介護風呂がある
9. 子育て広場で育児ができる
10. 体操教室（ヨガ・ダンス等）に参加できる
11. 趣味（囲碁・将棋等）を楽しむ場がある
12. 学習広場で勉強ができる
13. 図書（読書）スペースがある
14. 作品展示会（絵画、書道等）ができる
15. イベントが開催できる（ホールがある）
16. 各種イベントに参加できる
17. カラオケができる
18. ステージ発表ができる
19. カフェでくつろげる
20. フリースペースでくつろげる
21. 市内からバスで送迎してもらえる
22. わからない
23. 施設自体必要でないと思う
24. その他

( )

問15 その他、黒部市社会福祉協議会に対するご意見、ご質問があれば記入してください。

ご協力ありがとうございました  
黒部市社会福祉協議会

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会  
平成 30 年度『福祉に関わる団体支援者アンケート』報告書

発 行 平成 31 年 9 月

編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 経営戦略係

〒938-0022

富山県黒部市金屋 464 番地の 1

TEL 0765-54-1082 / FAX 0765-52-2797

E-mail kurobesw@ma.mrr.jp